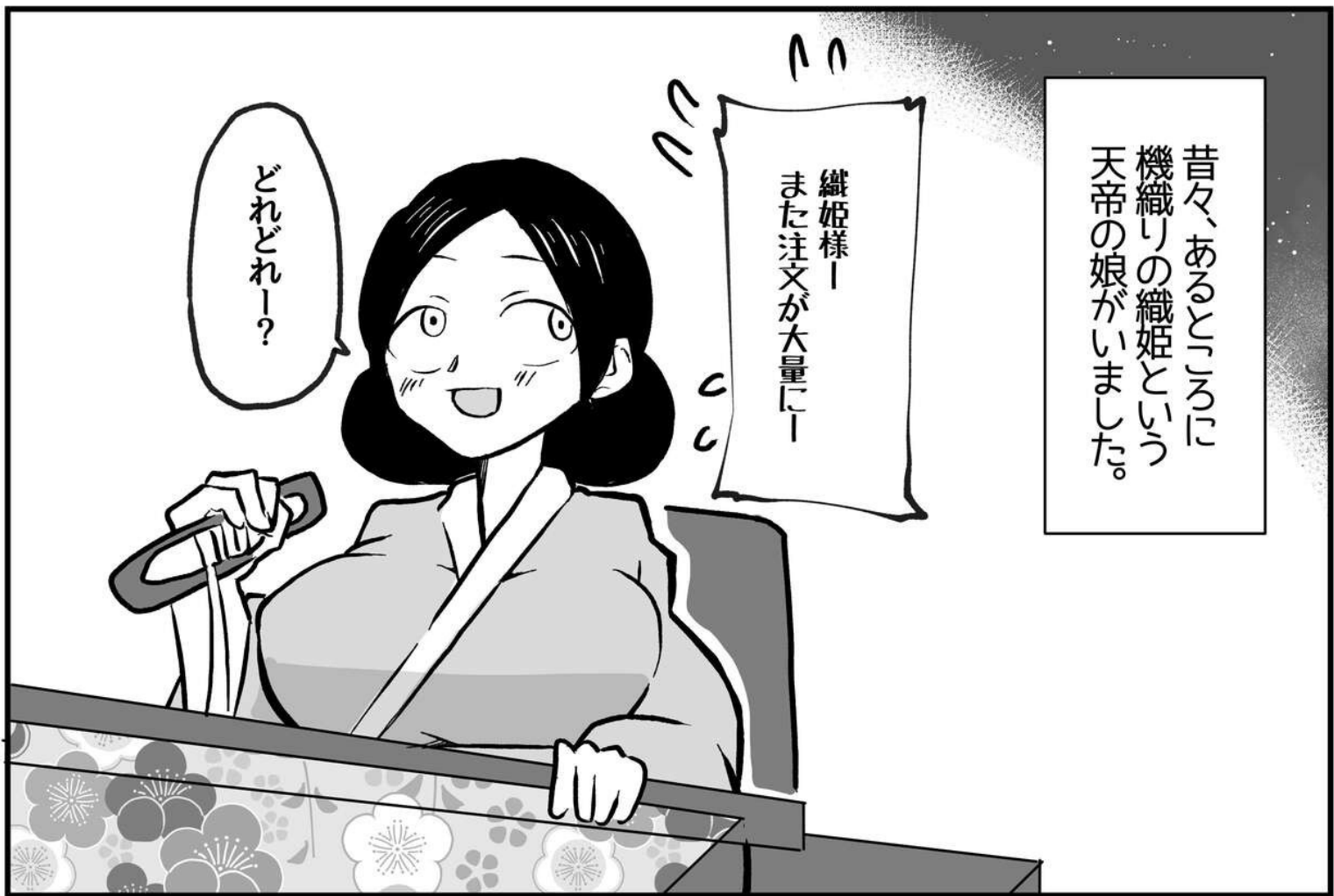


なんでも願いを
叶えてくれる織姫様





昔々、あるところに
機織りの織姫という
天帝の娘がいました。

織姫様ー
また注文が大量にー

どれどれー?



今日はあなたは
上がつちやつても大丈夫よ

えっ



なるほどなるほど
宮廷からの注文ね

春だもんねー
新人用かなあ?

ポッポッ





ありがとう彦星

おふろ沸かしてきたよ
織姫

やがて月日は流れ
織姫は彦星という
牛飼いの青年と結婚しました

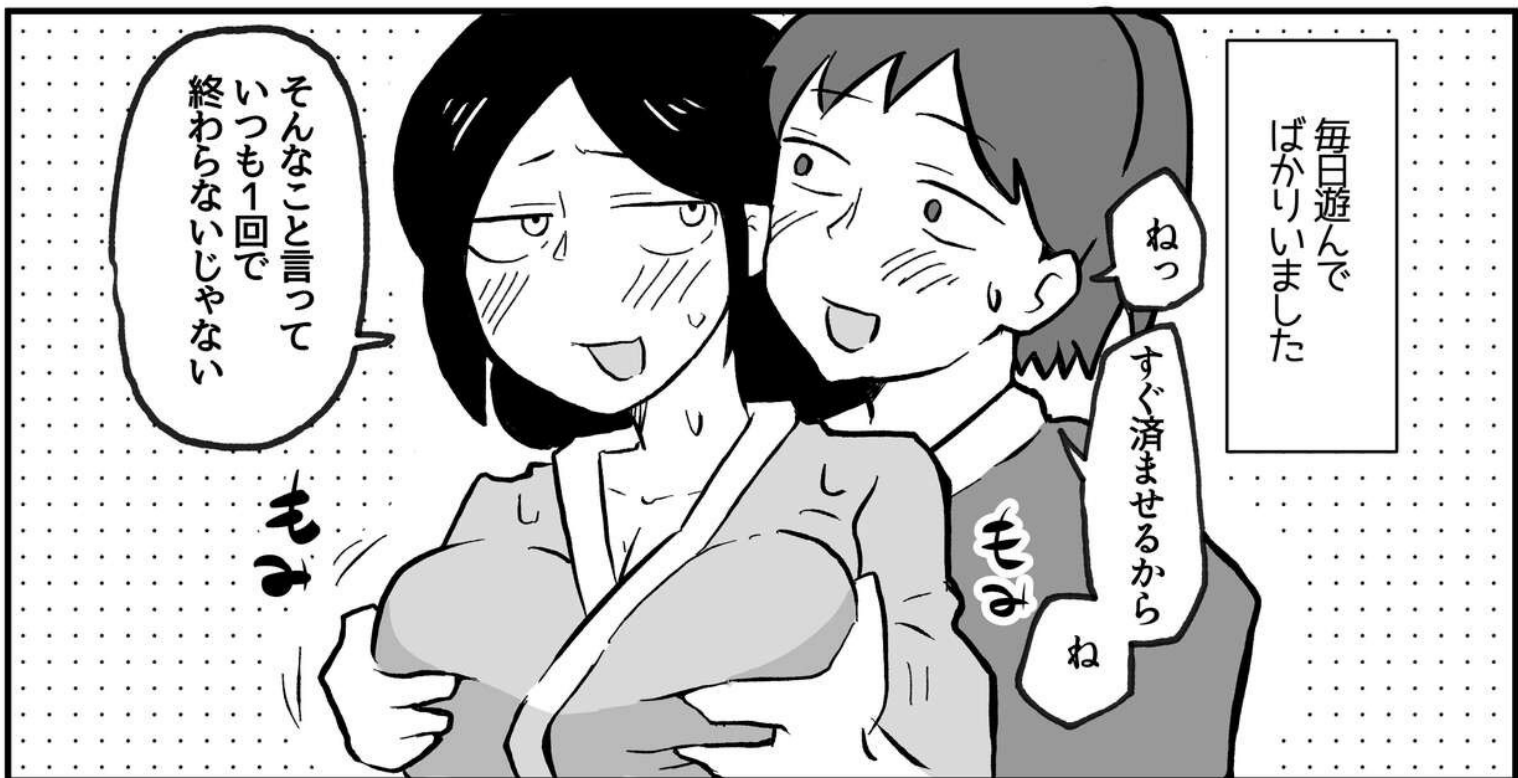
す



んー
ちょっと我慢
出来ないかも

もうすぐ
出来るから
後にしてー

二人は大変
仲が良く



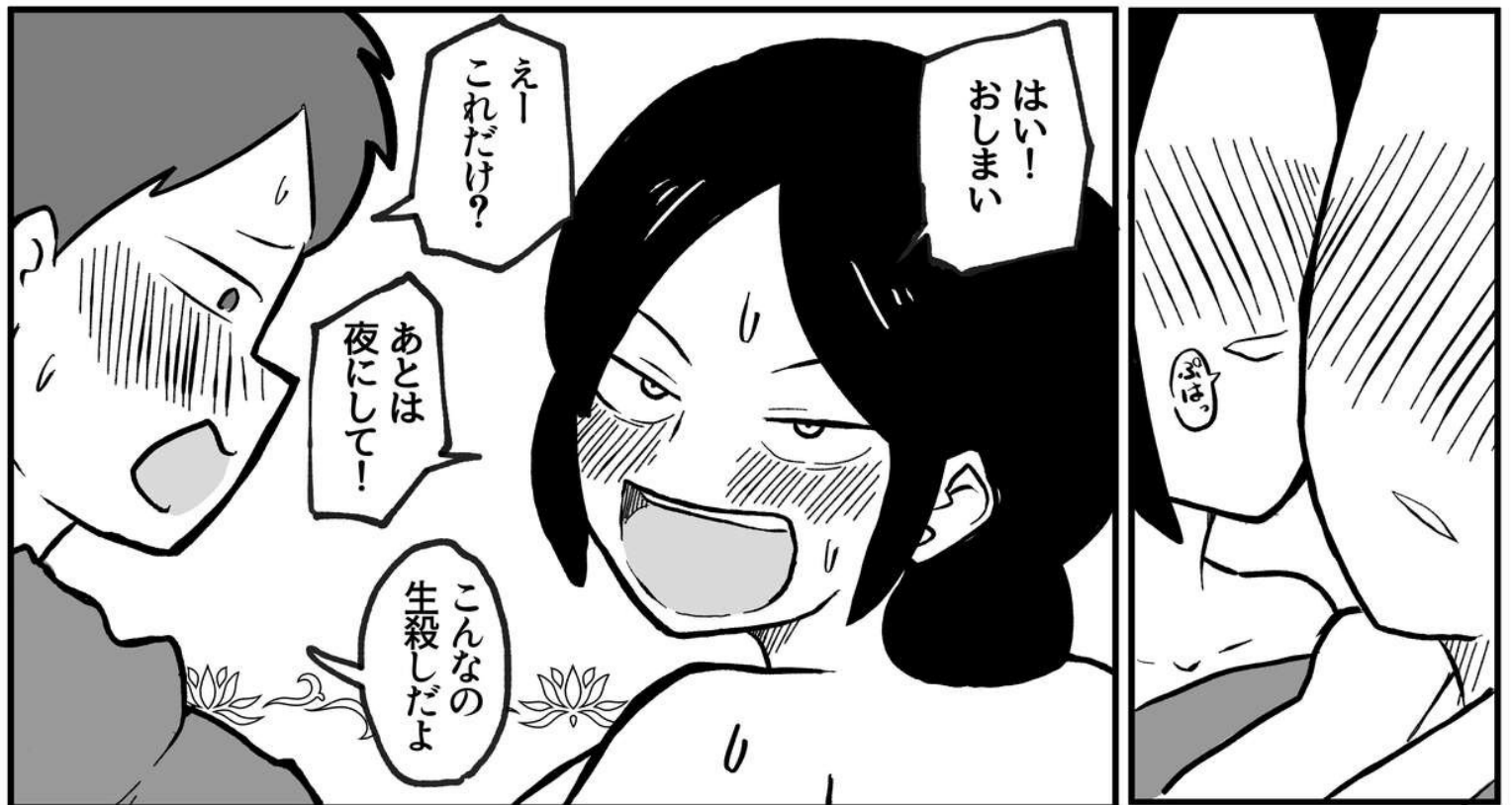
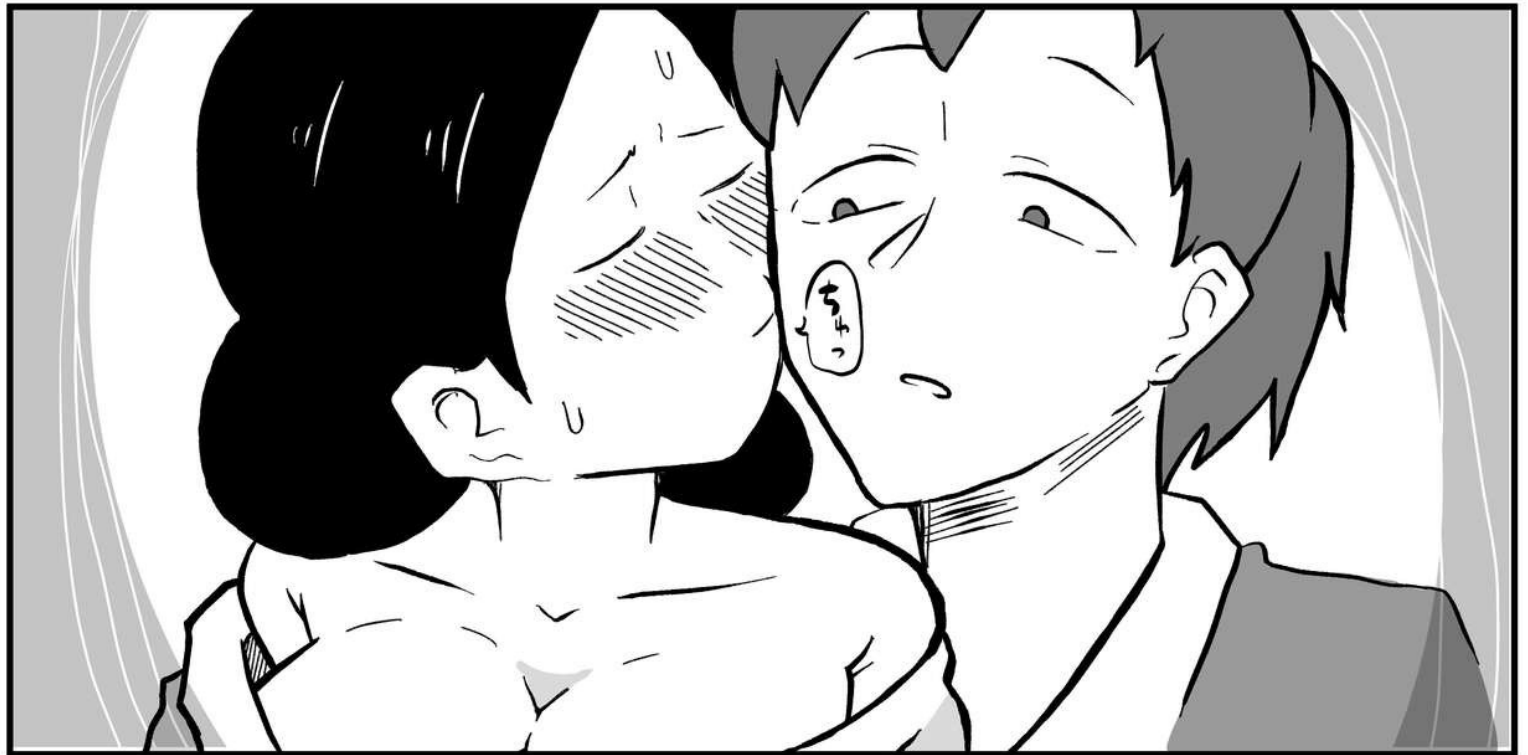
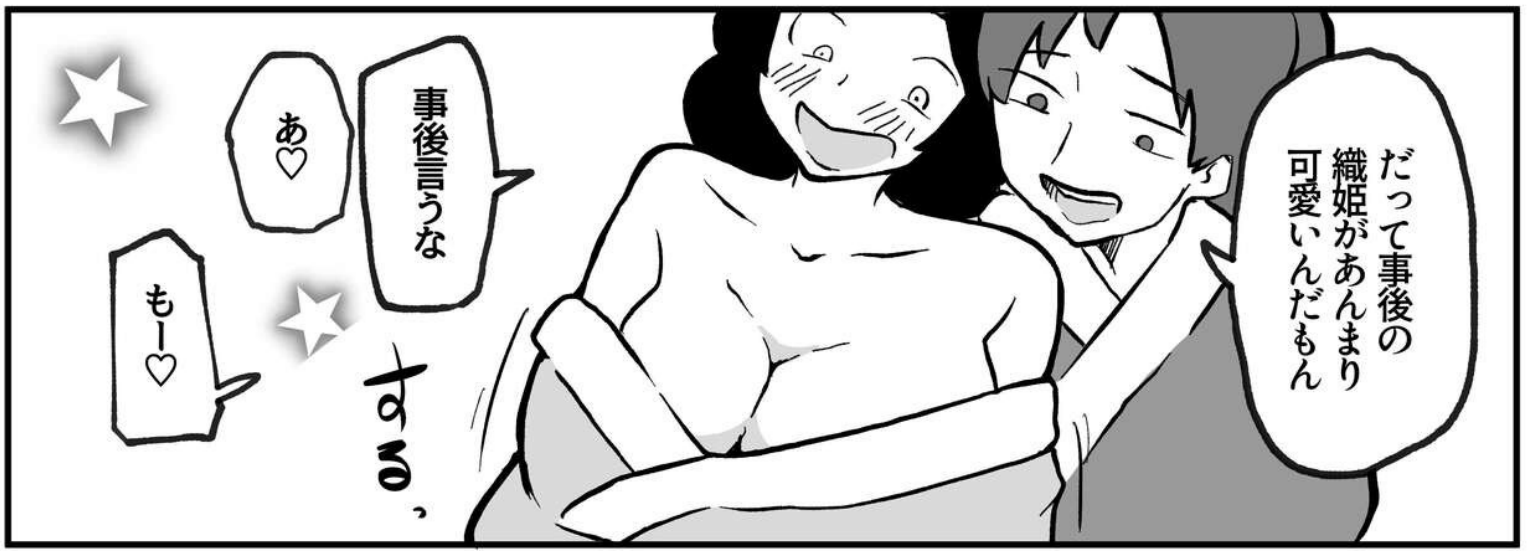
そんなこと言って
いつも1回で
終わらないじゃない

毎日遊んで
ばかりいました

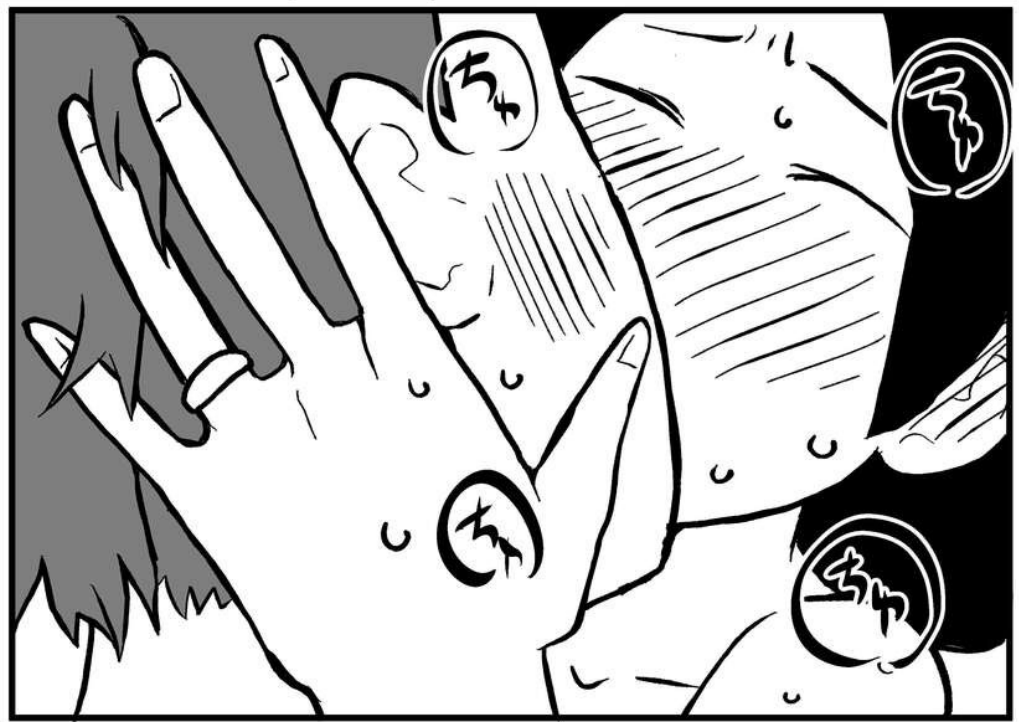
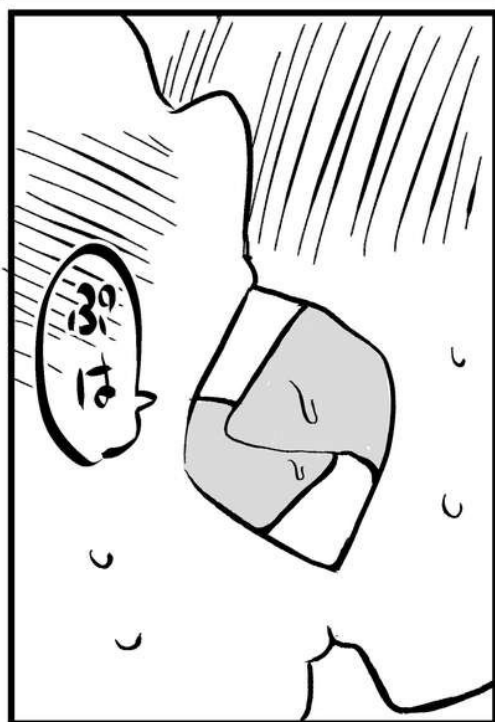
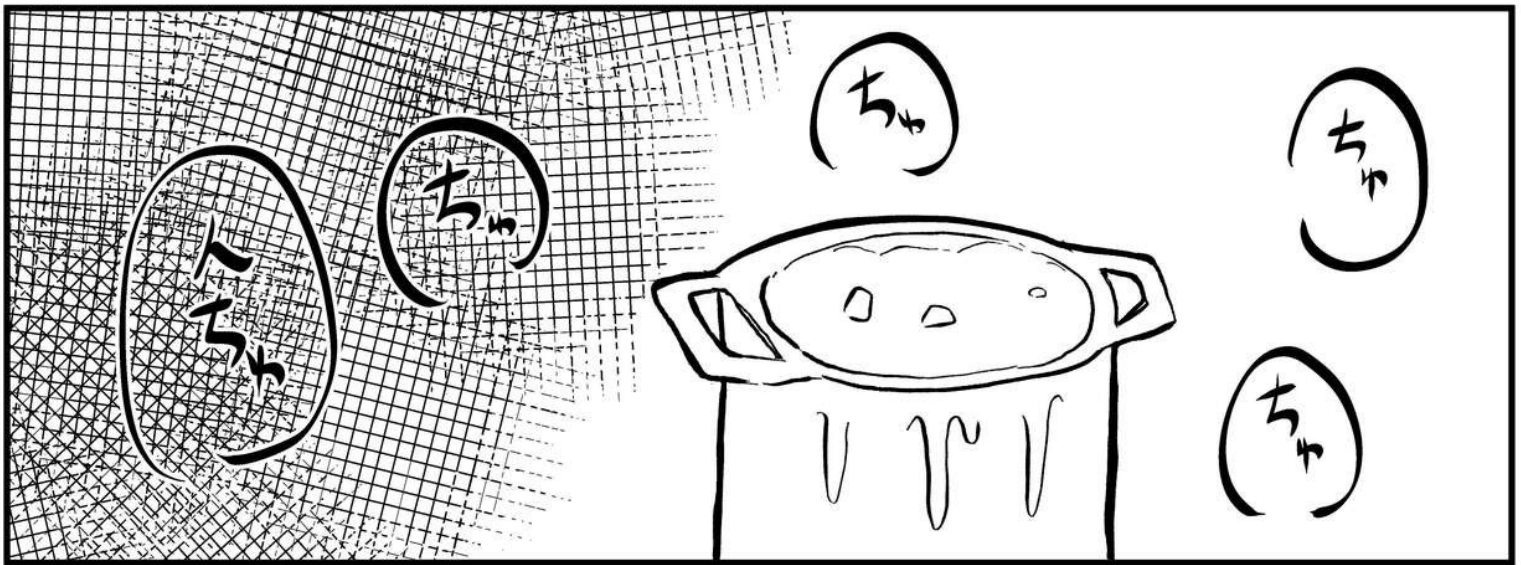
ねっ
すぐ済ませるから
ね

もみ

もみ

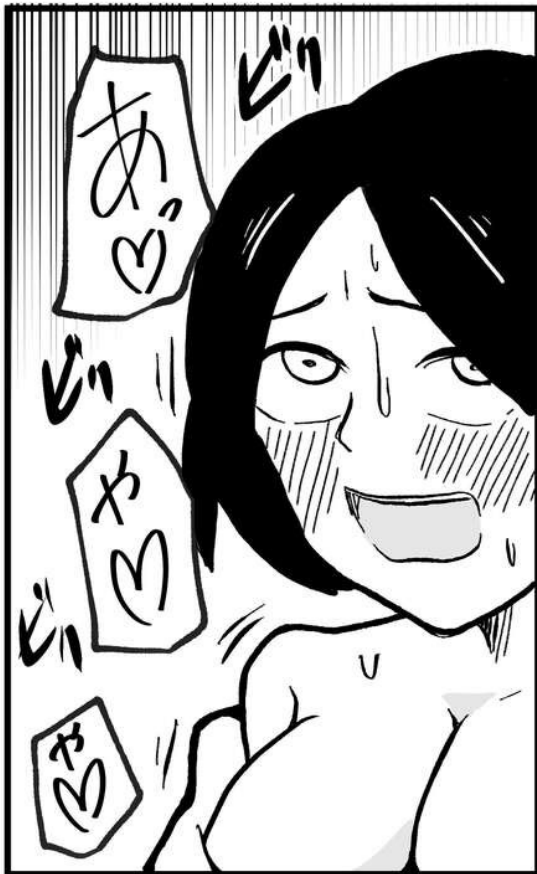


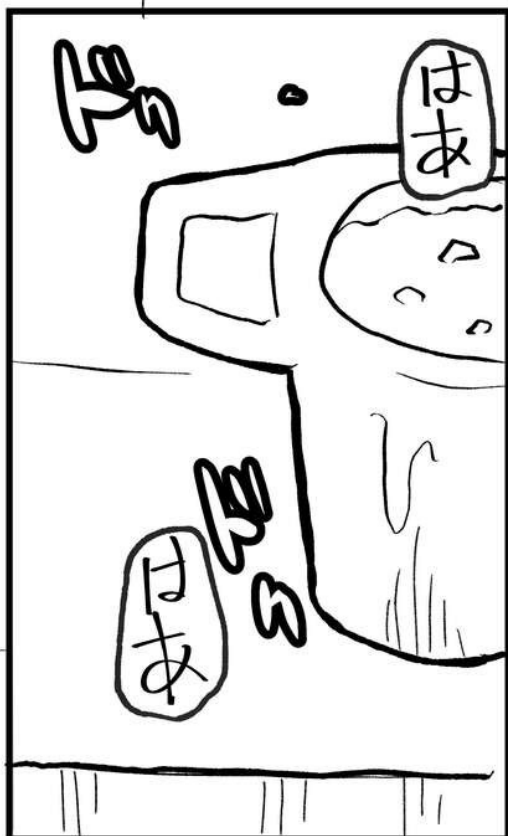
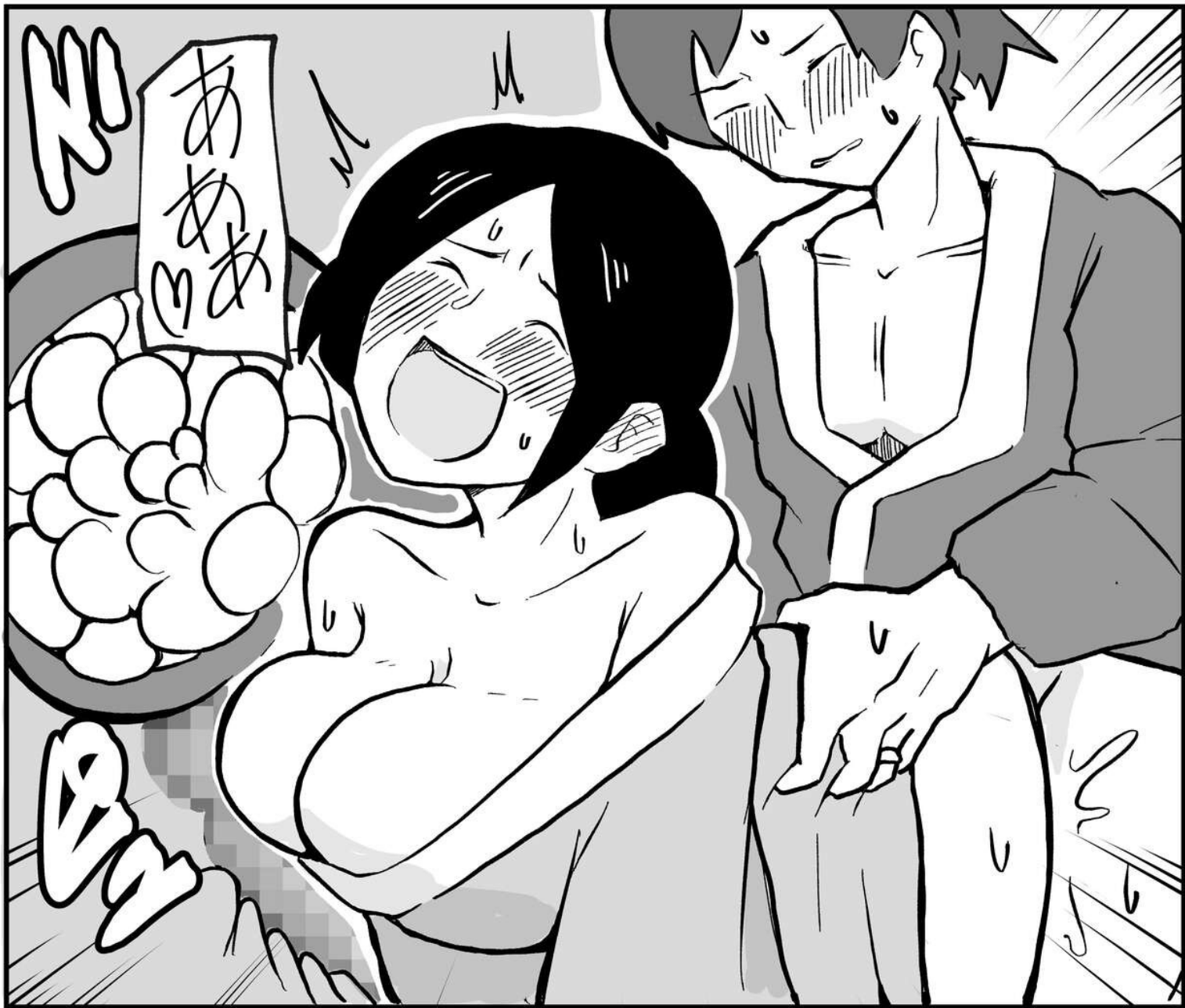


















ごはん遅く
なっちゃうけど...

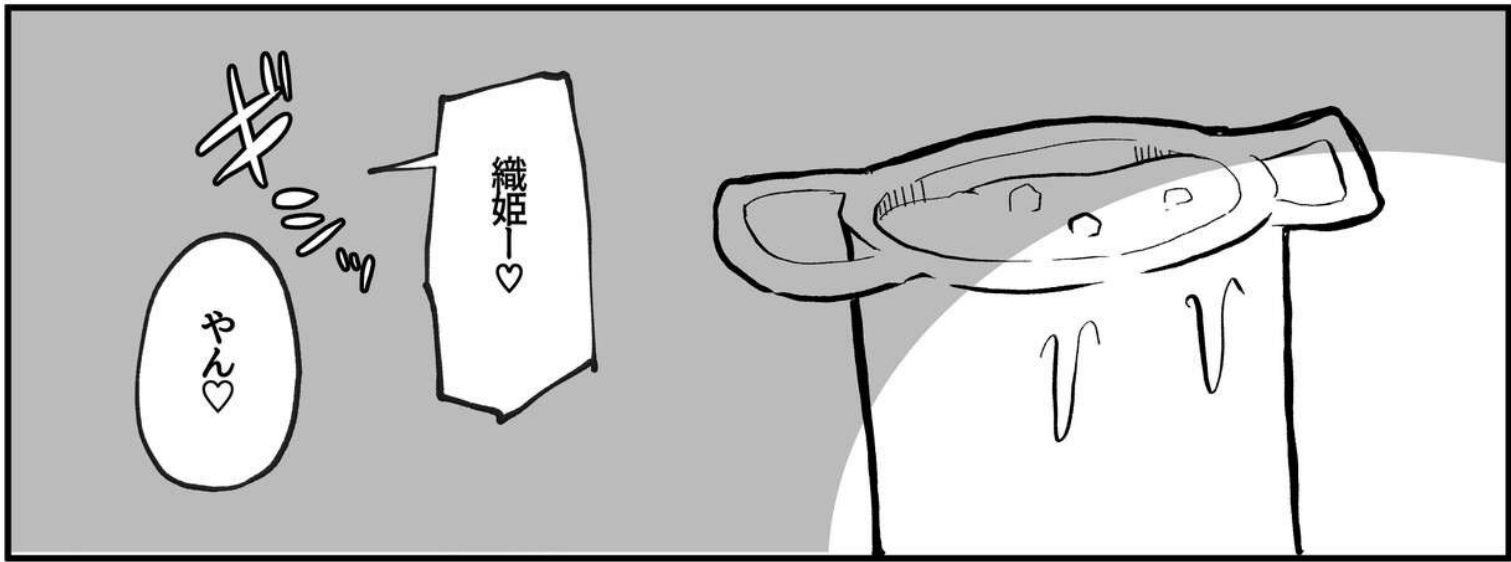
...すん...



寝落ち♡

すん♡

んん



んん♡

織姫♡



ムリ…
もうしたい
今したい



やっぱりせめて
おふろの後にしない？

ねえ

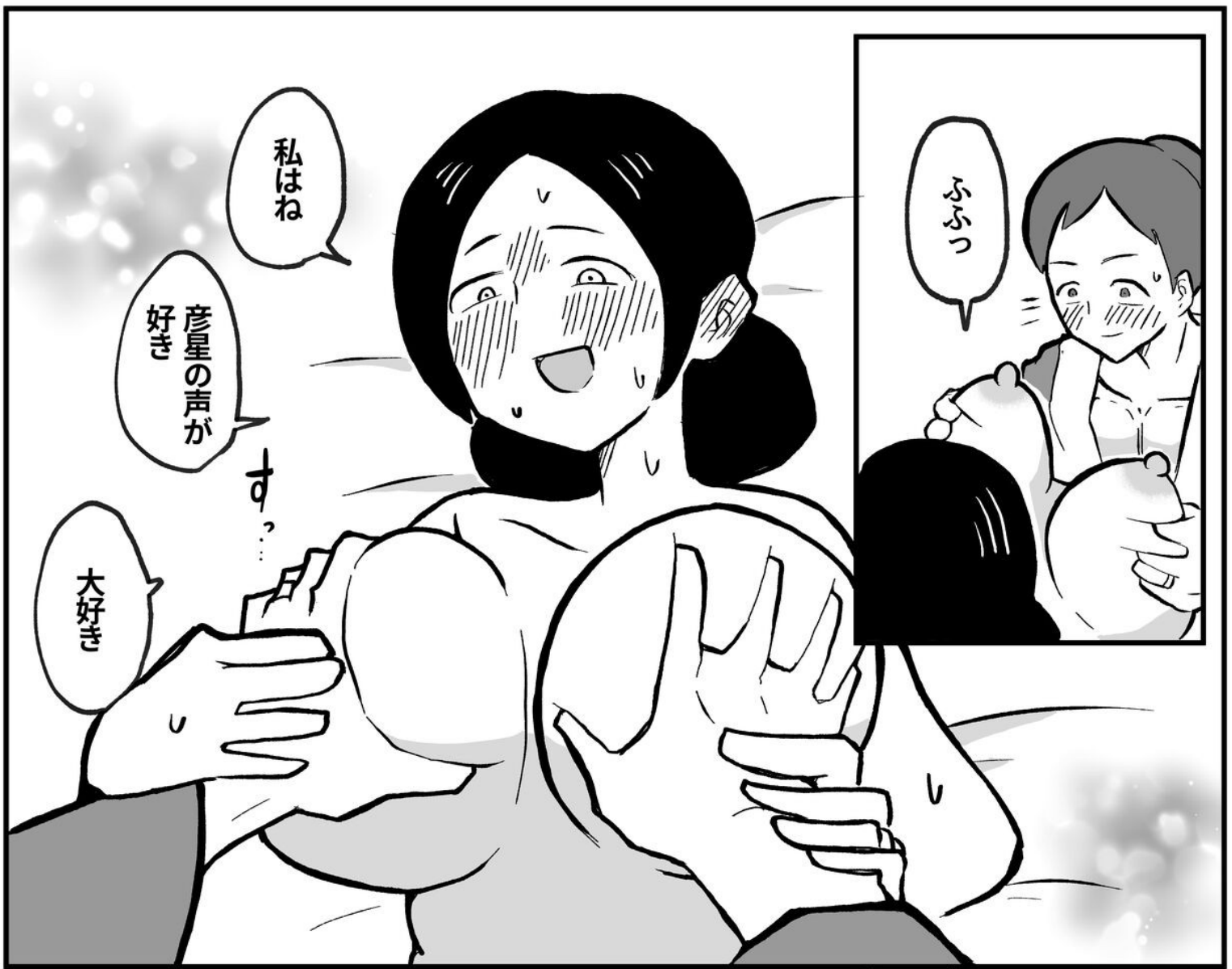


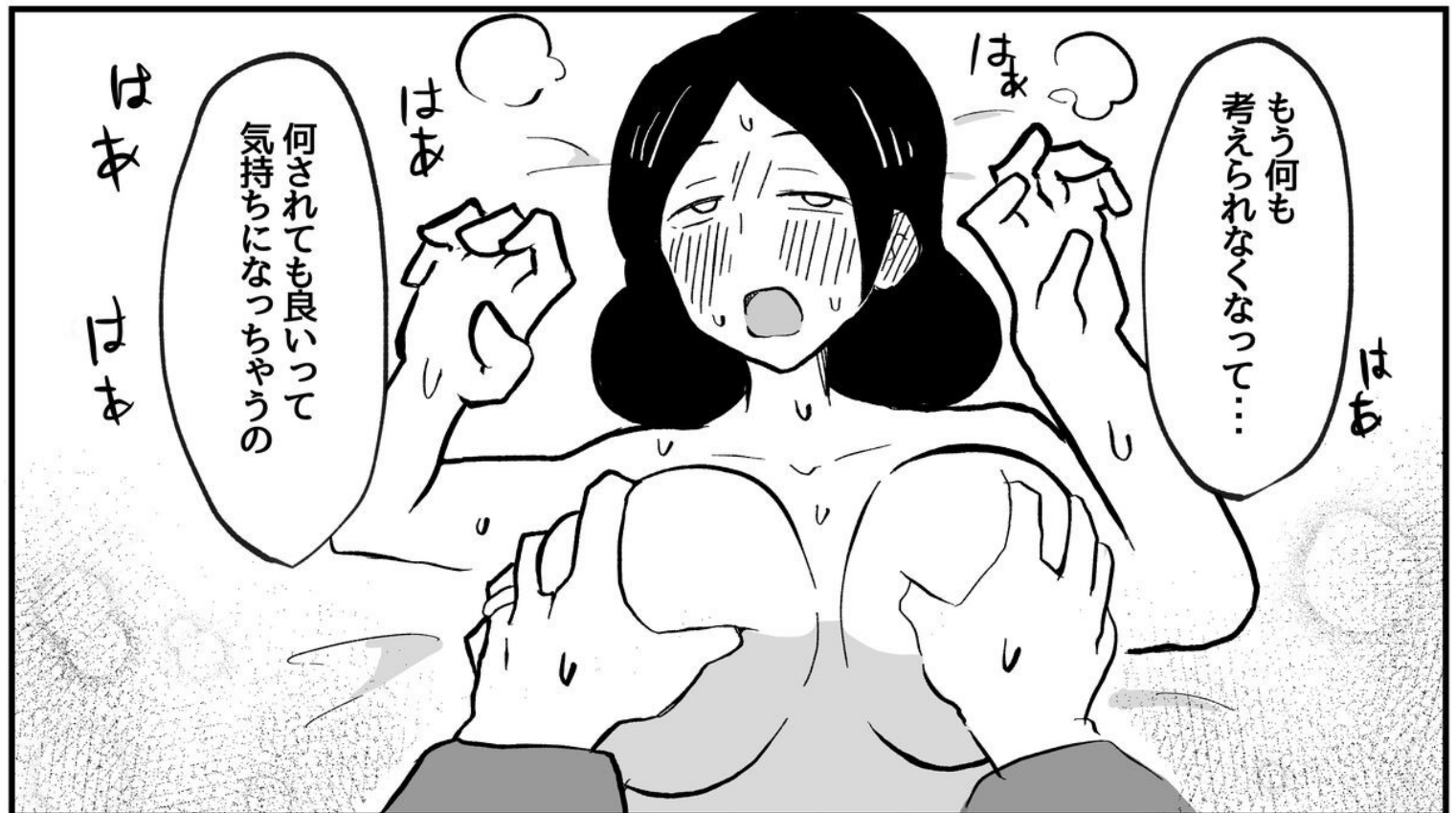
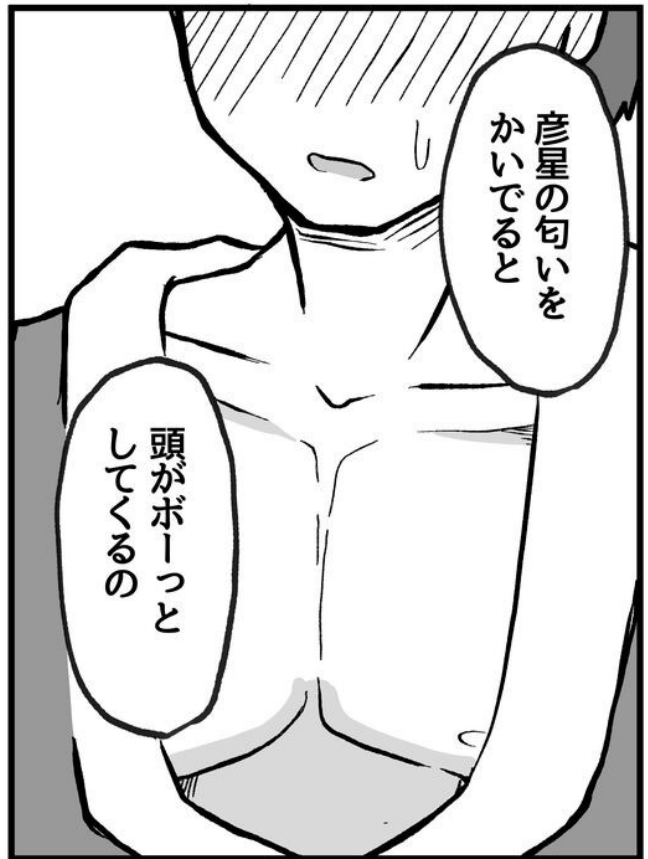
今日暑かった
からーっ

いやー！
におい嗅がないで

フッ
フッ
フッ









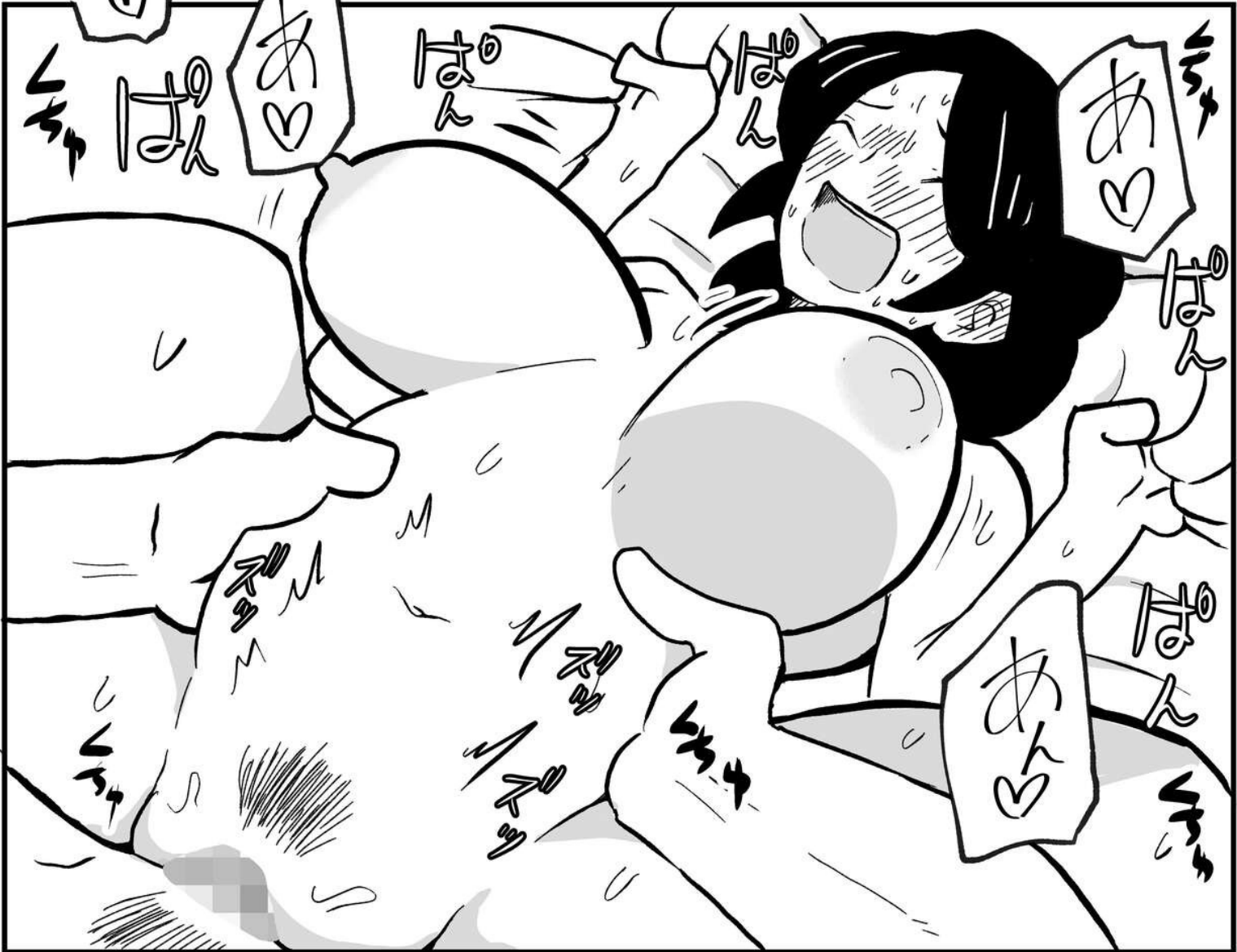
織姫…

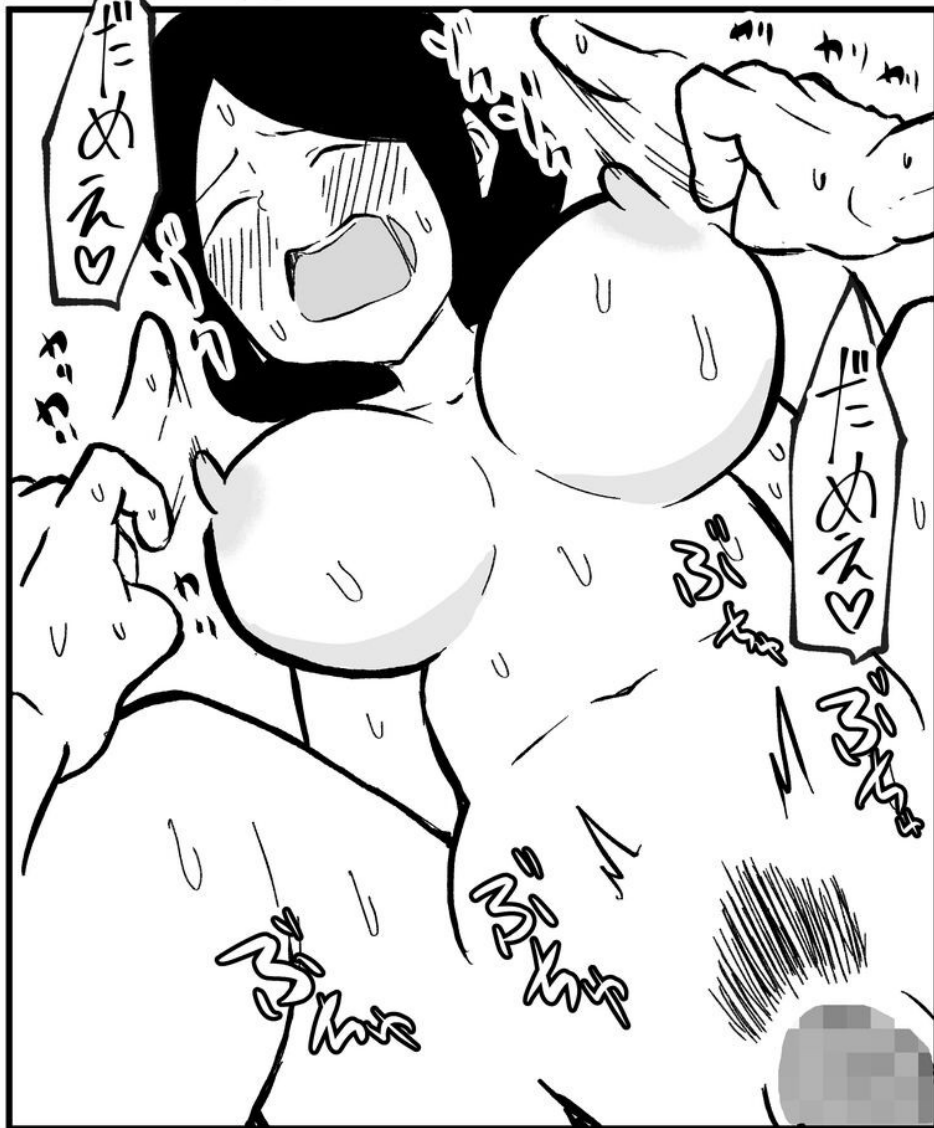
キュ
ッ

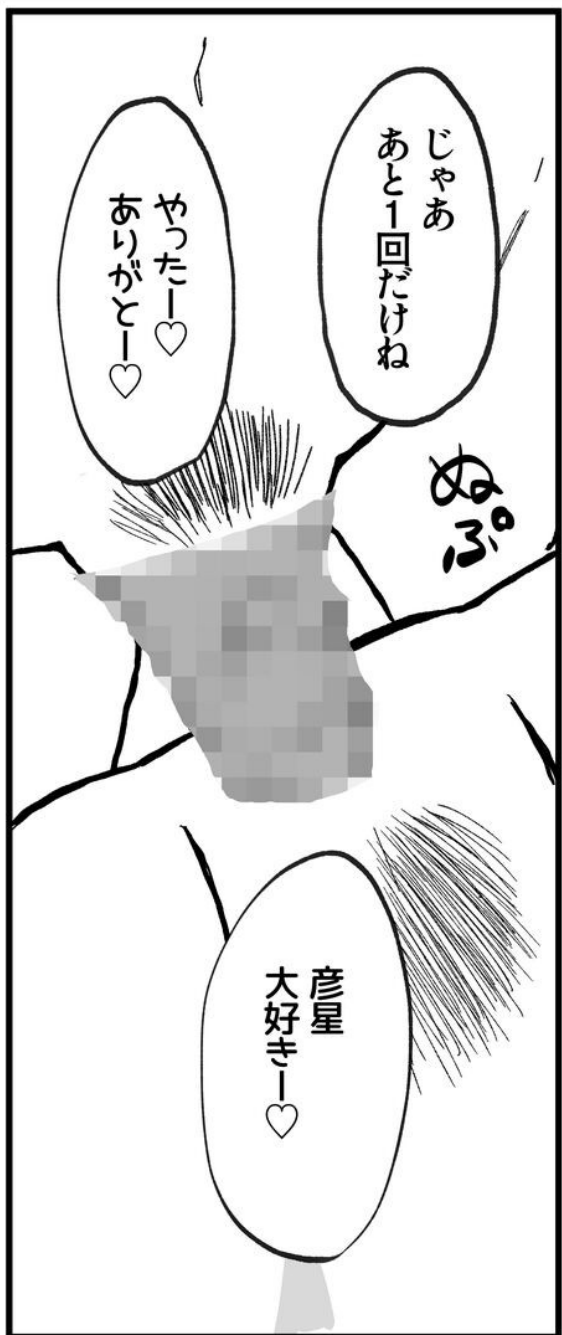


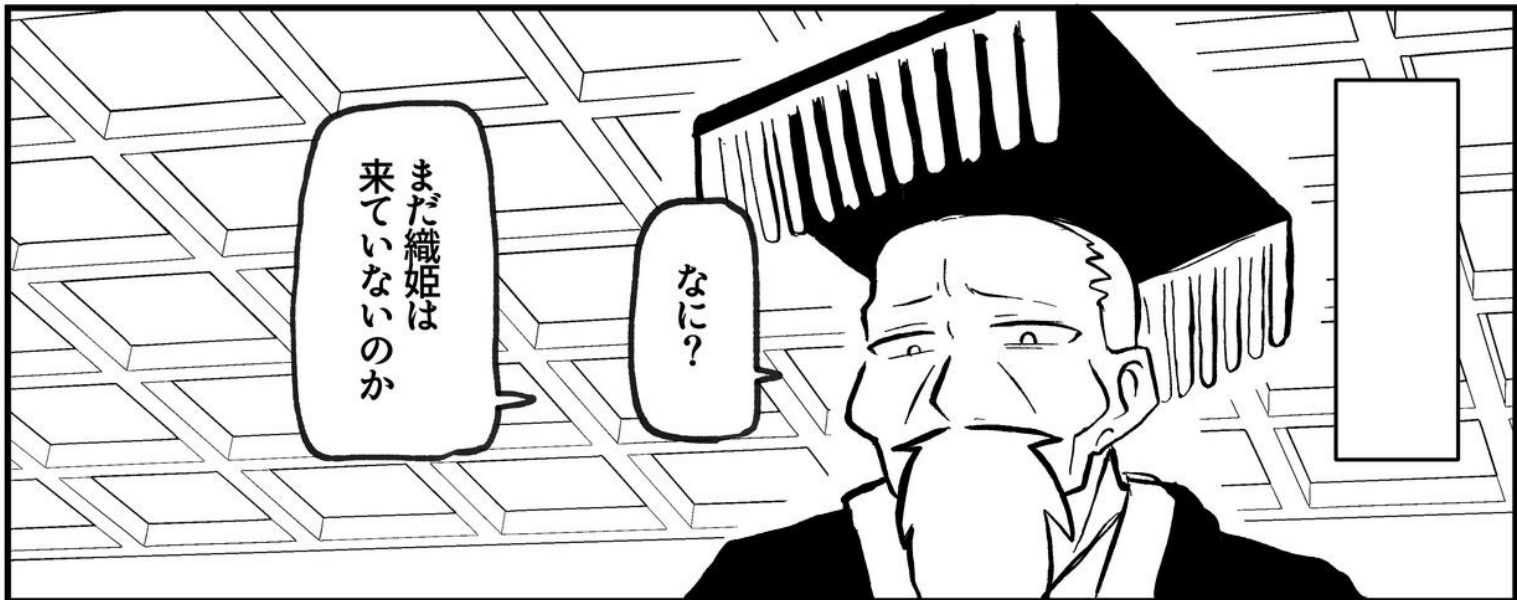
私も…

愛してる









まだ織姫は
来ていないのか

なに?



最近
遅刻ばかりで

天帝様のお耳に
入れる程でも
無いとは思うの
ですが

はい...



なにごん娘は
新婚なのでな...

もう少し大目に
見てやってくれ

いえ
とんでもないです

すまない



子供ができれば
落ち着くじやろ

あーん♡
はーん♡

あーん♡
はーん♡

あーん♡
はーん♡

あーん♡
はーん♡

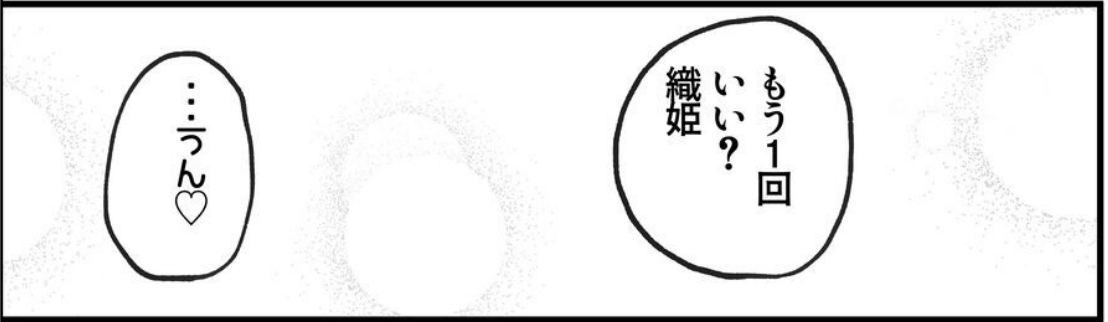
あーん♡
はーん♡

あーん♡
はーん♡

あーん♡
はーん♡



織姫と彦星は
毎日遊んで
暮らすよつになり



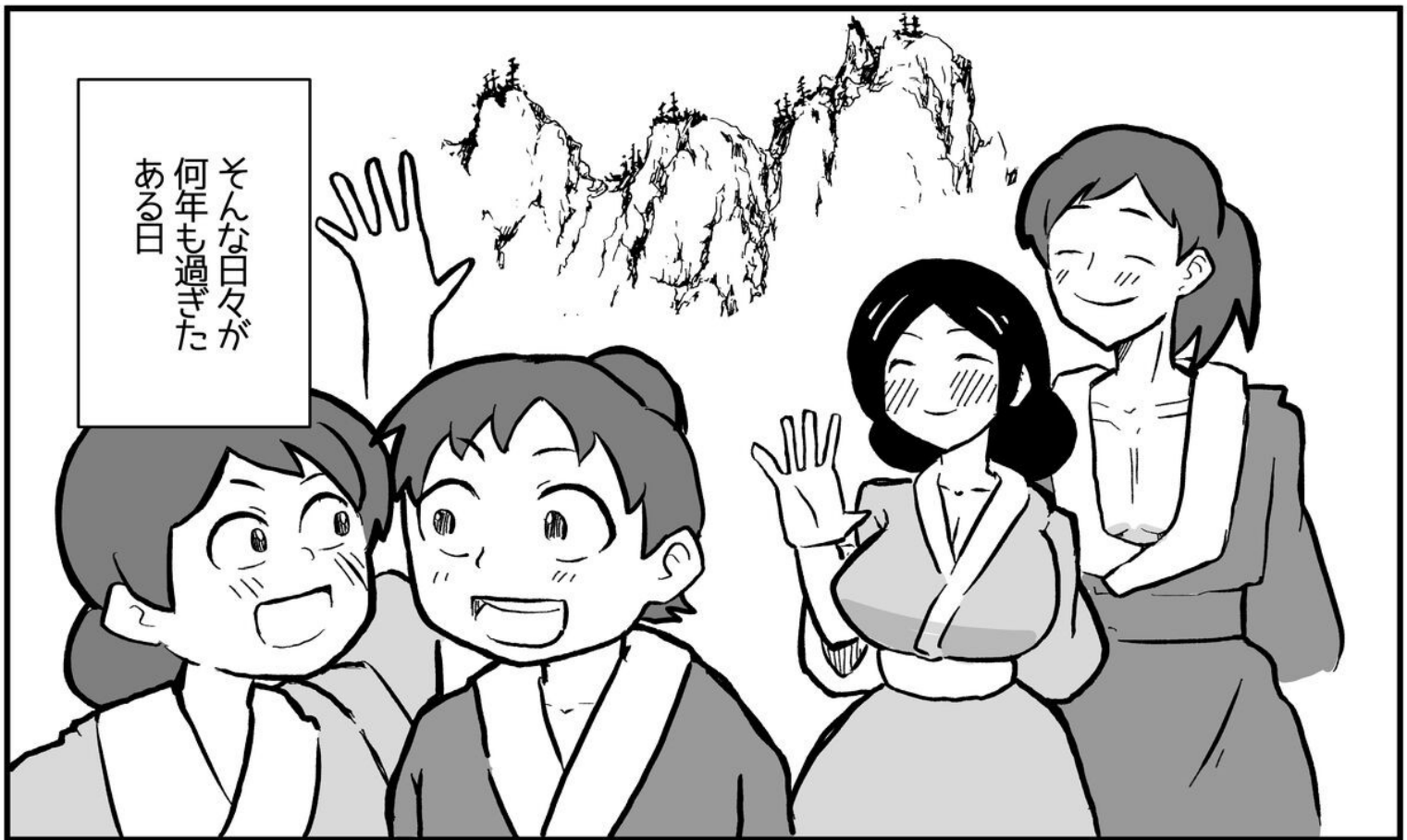
二人は働かなくなつていきました

毎日毎日
遊んで暮らし

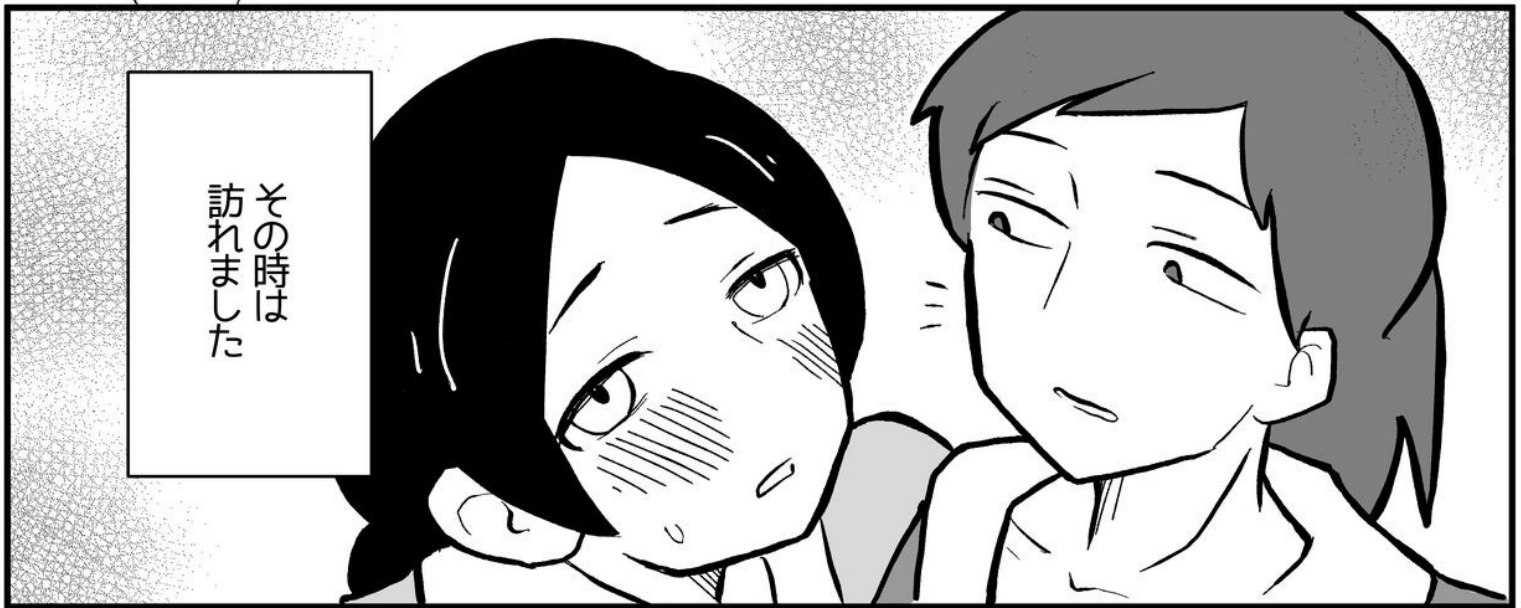


何年も何年も
遊んで暮らしました





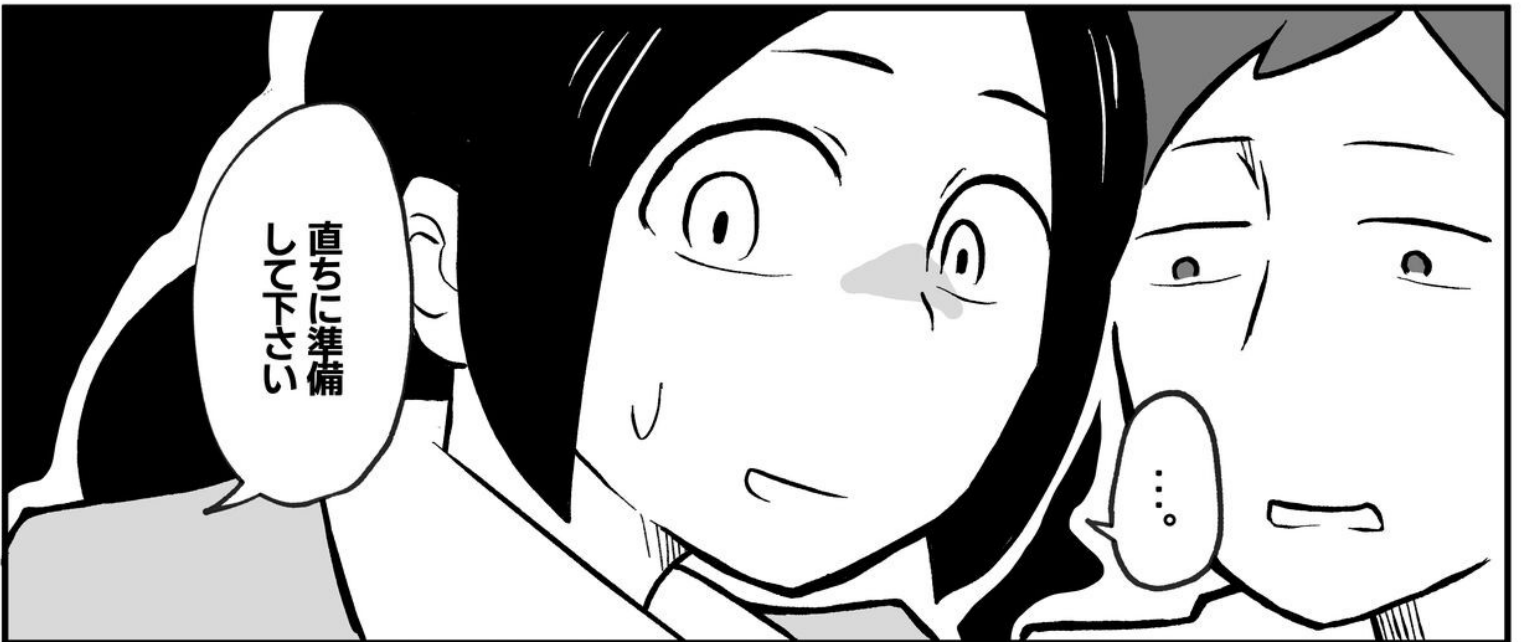
そんな日々が
何年も過ぎた
ある日



その時は
訪れました



織姫様









織姫

久しいな



お久しゅう
ございます
お父様

あの…

なぜ呼ばれたかは
分かっているだろう

結婚してからというもの
ろくに仕事もせずに
あの牛飼いと自堕落な生活を
送っているそうだな

あ…



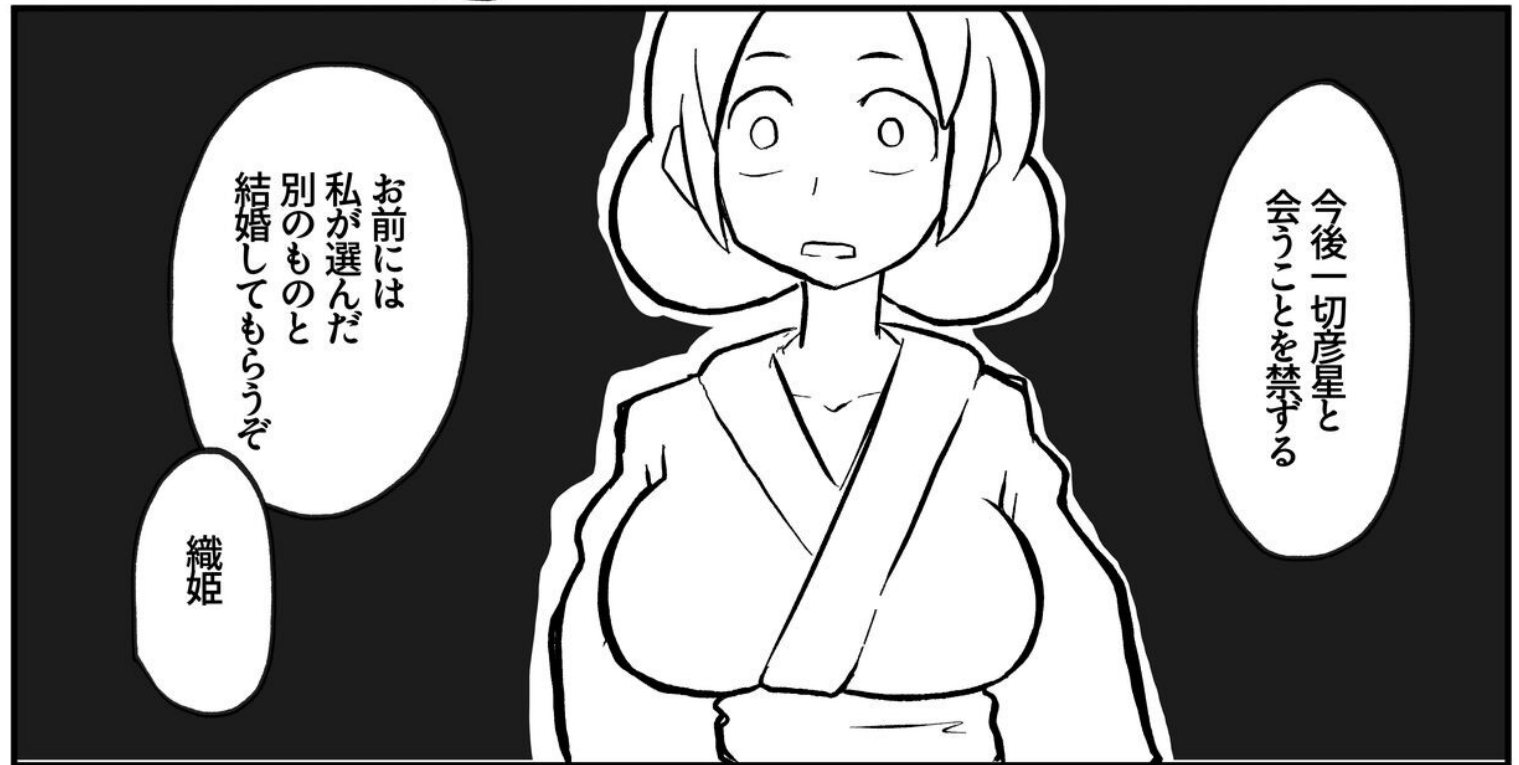
お父様…

あの

言い訳など
聞きたくは無い

子供を二、三人産めば
少しは落ち着くと
思ったが…

お前には
失望したぞ
織姫



今後一切彦星と
会うことを禁ずる

お前には
私が選んだ
別のものと
結婚してもらおうぞ

織姫



何を言っているの？
お父様

嫌です！
そんなの！

子供達だって
いるんですよ

もう決定事項だ
従いなさい

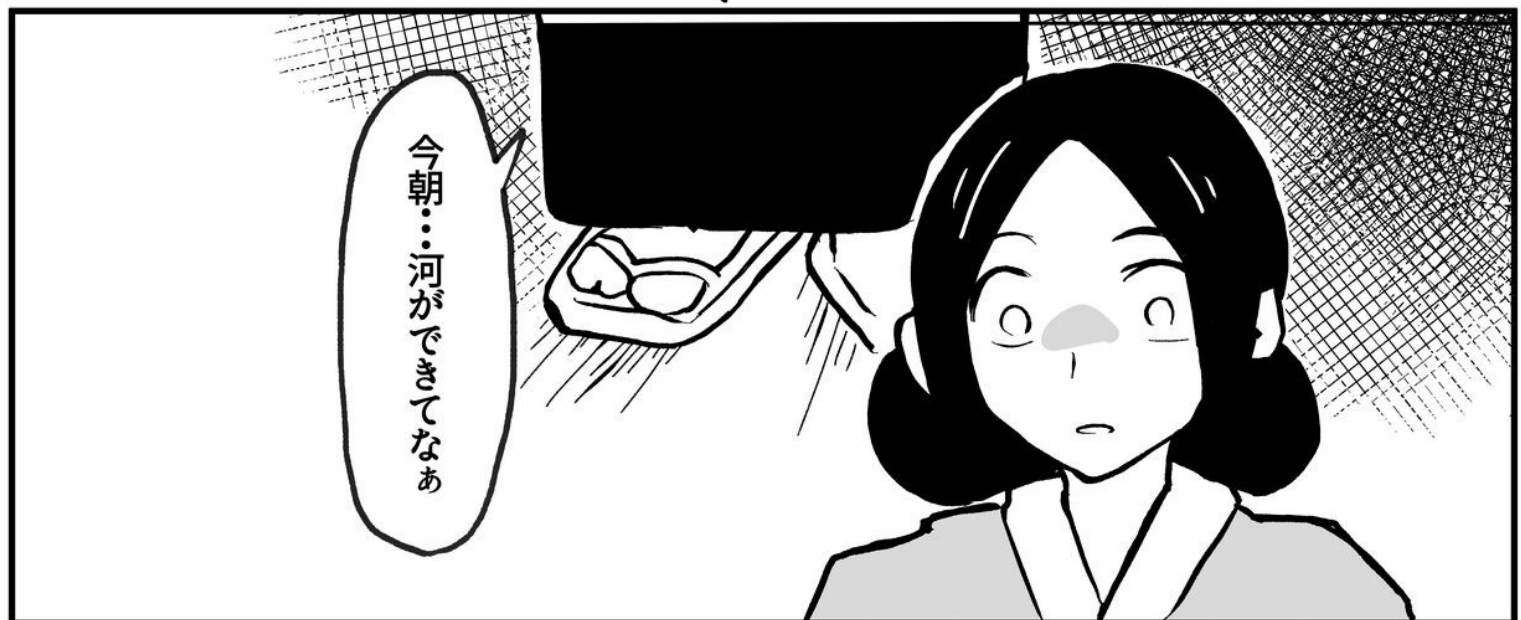


そんなめっちゃくちやな命令
私は聞きませんよ

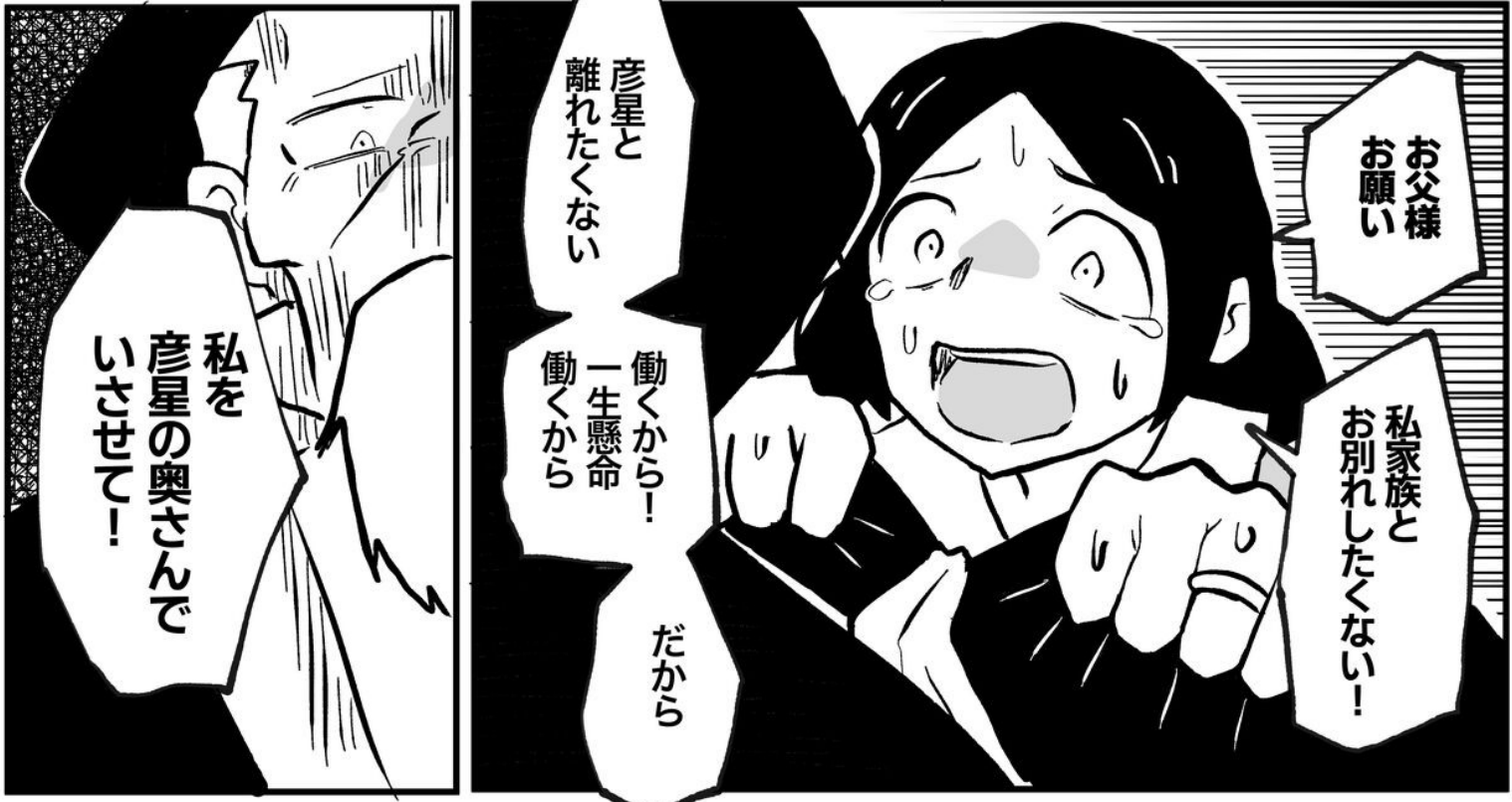
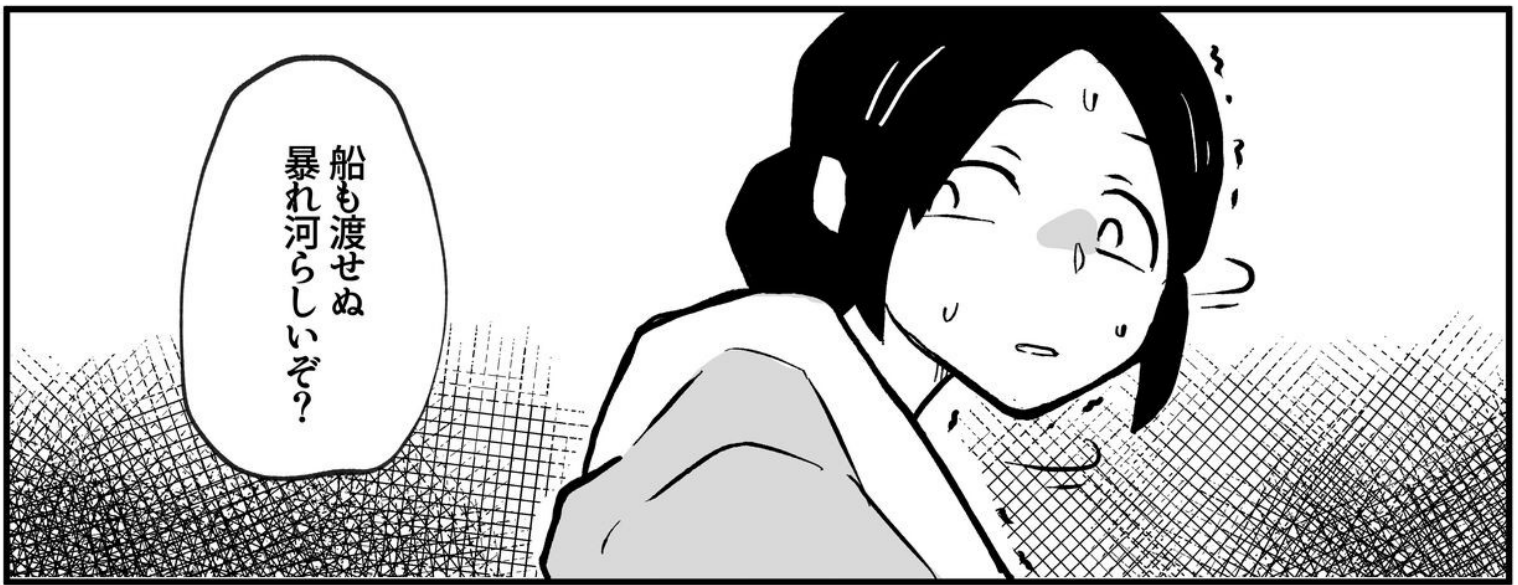
私帰る！

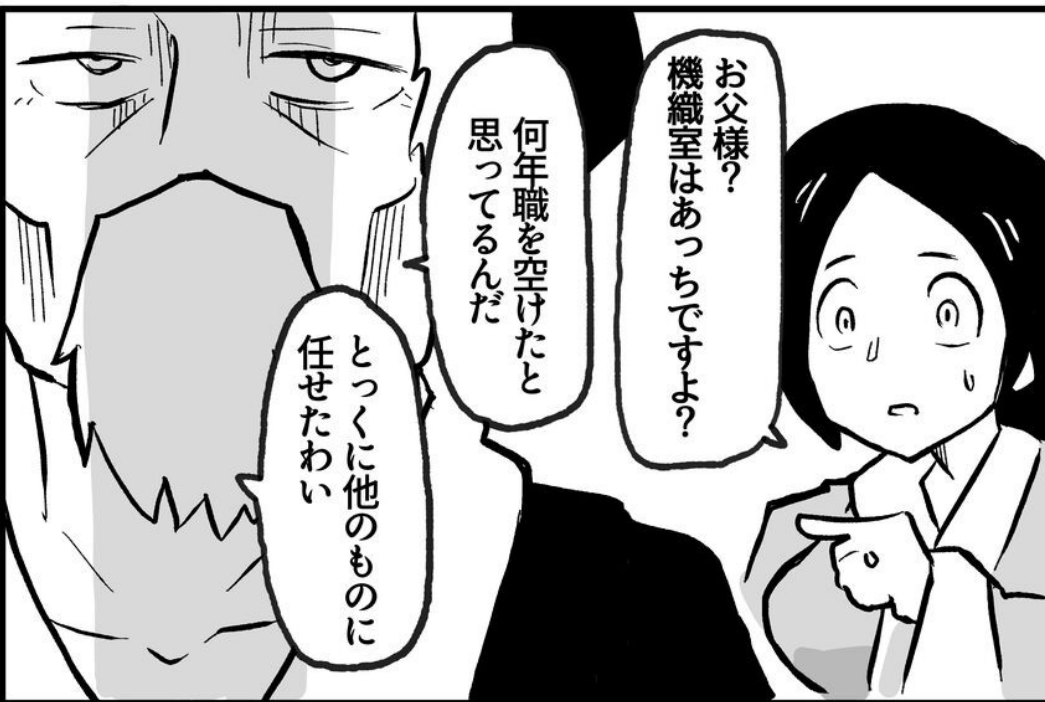
親子の縁でも
何でも切ったら
いいわ

ほう…
どうやって
帰るのだね？

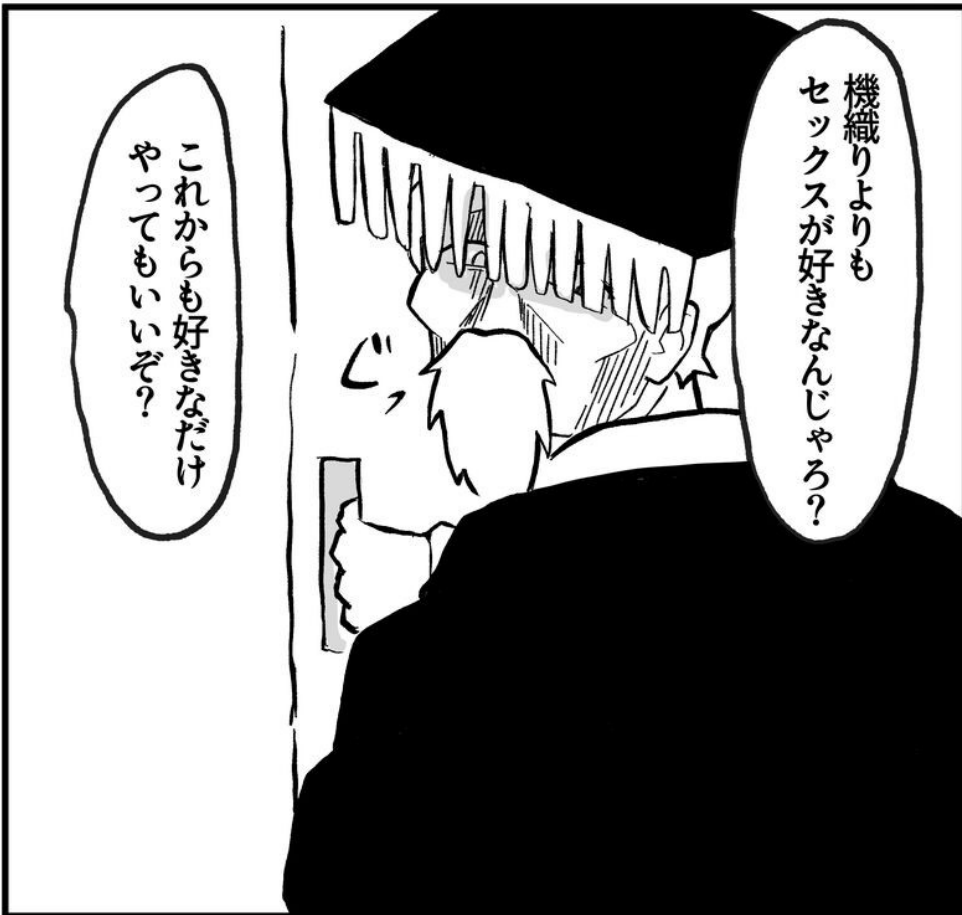


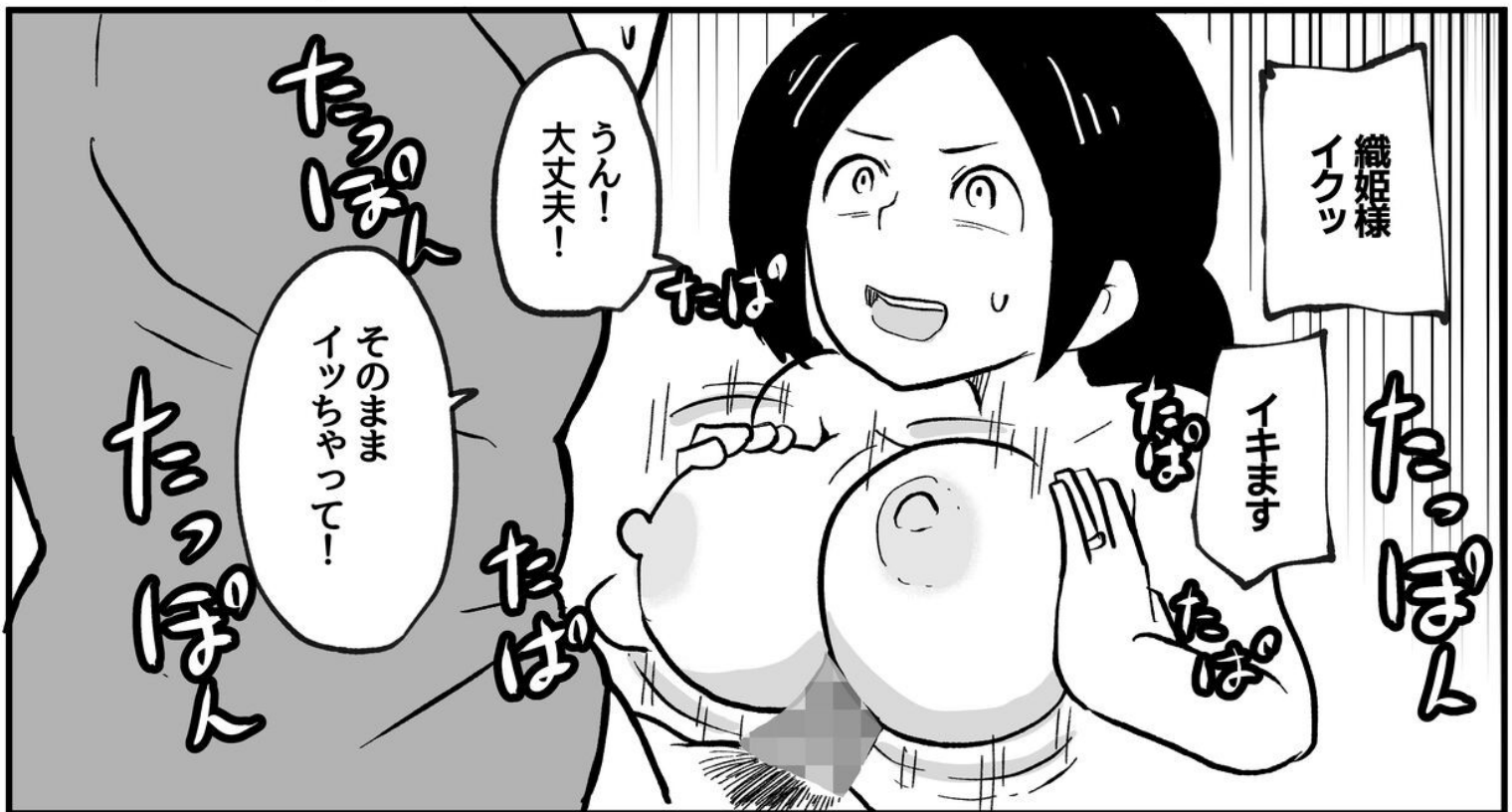
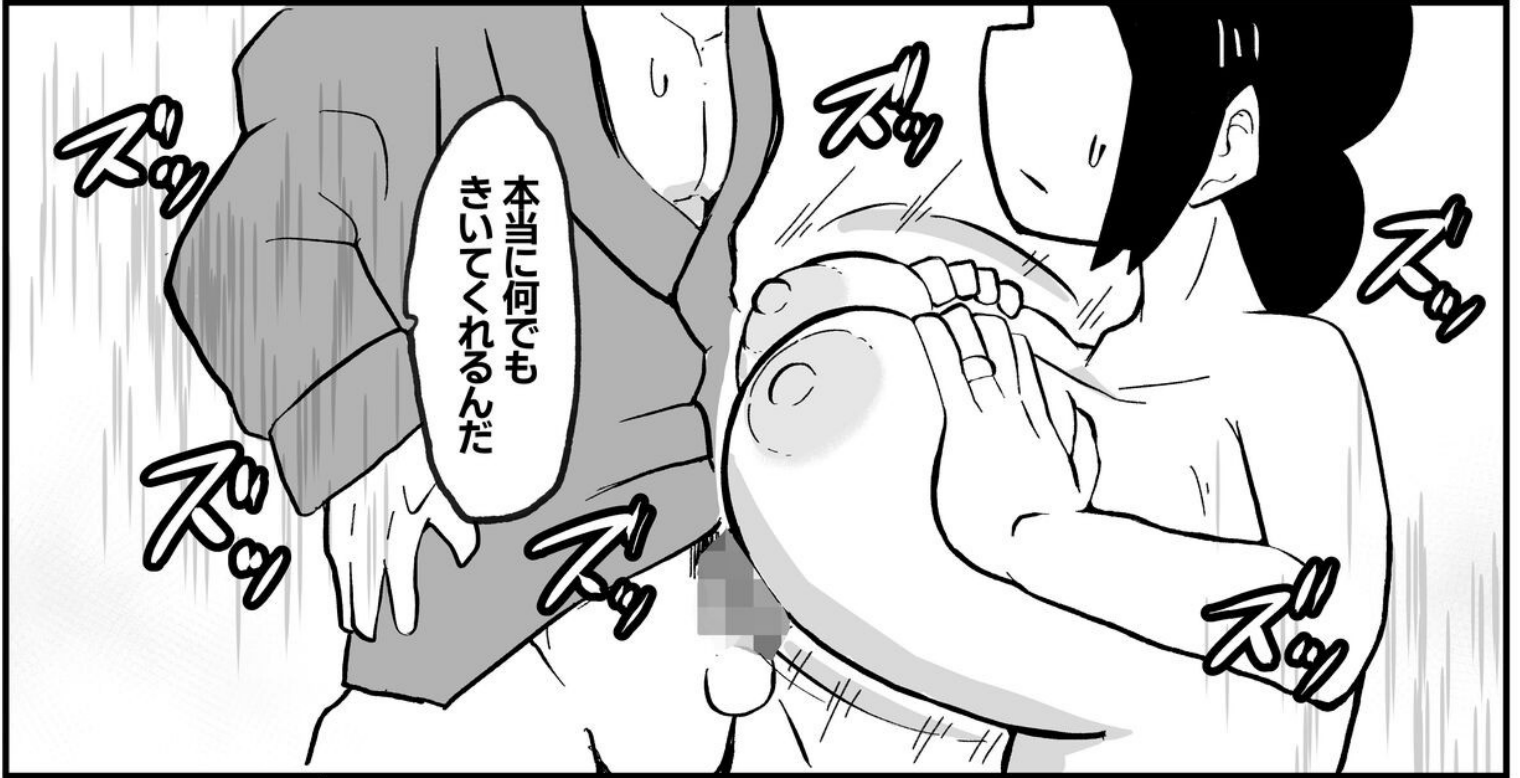
今朝…河ができてなあ

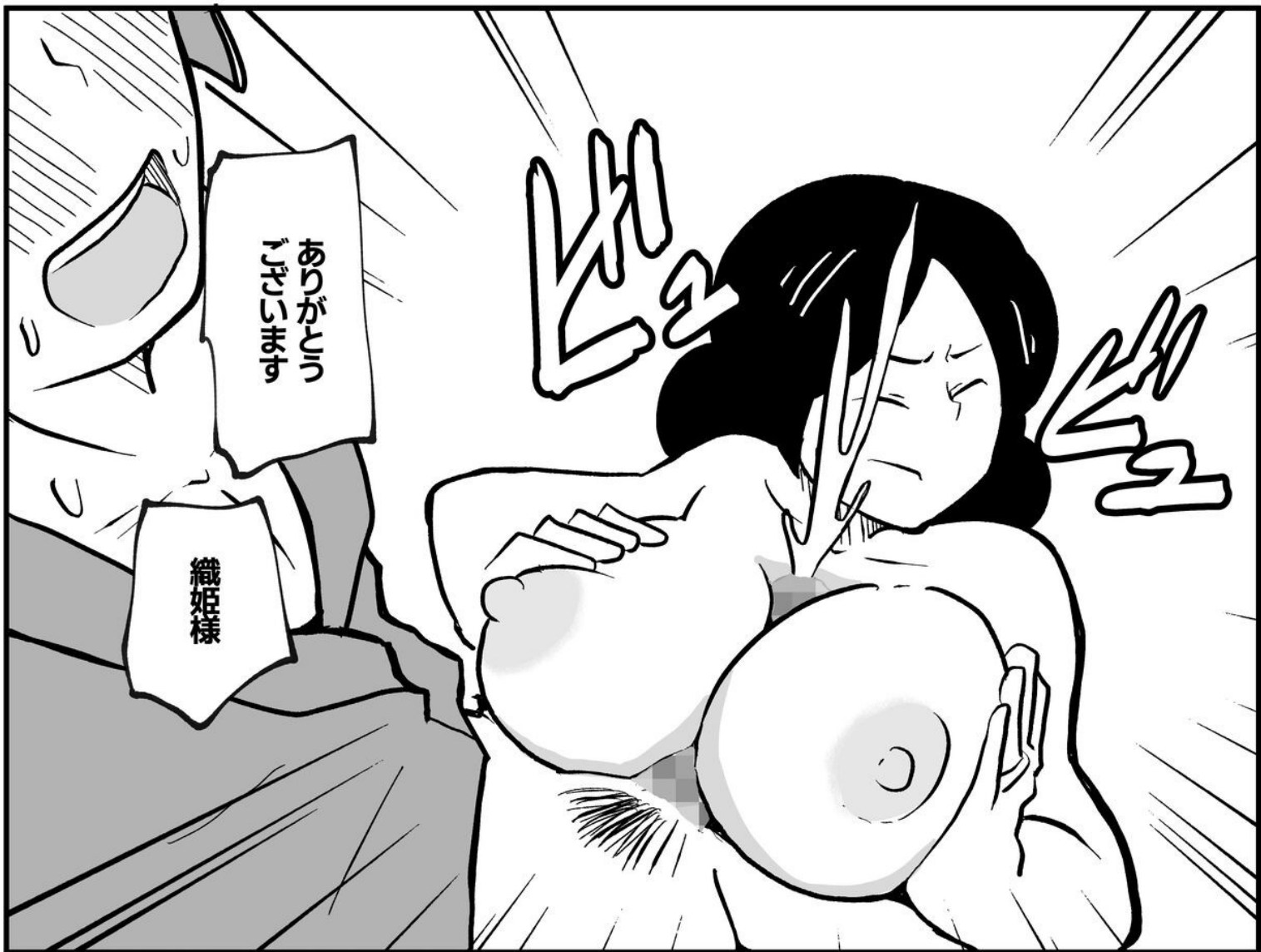


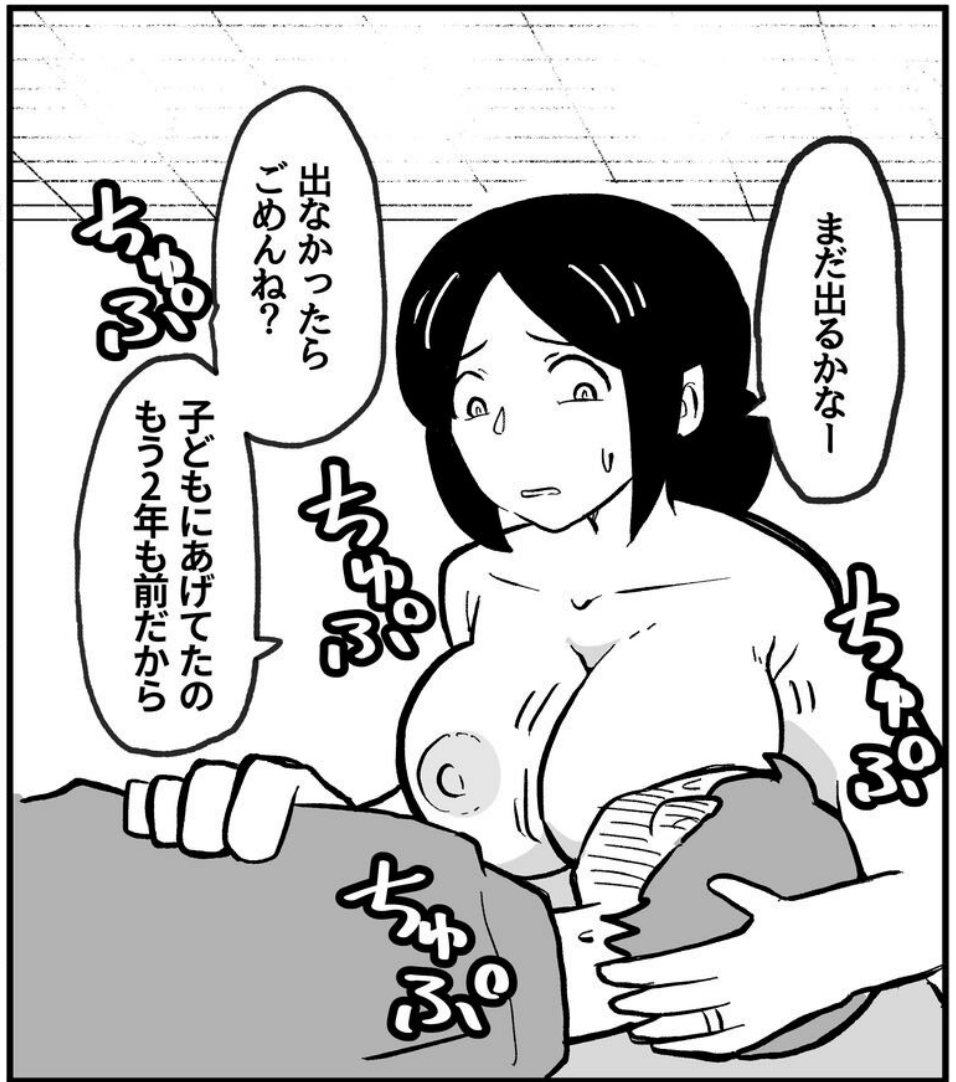
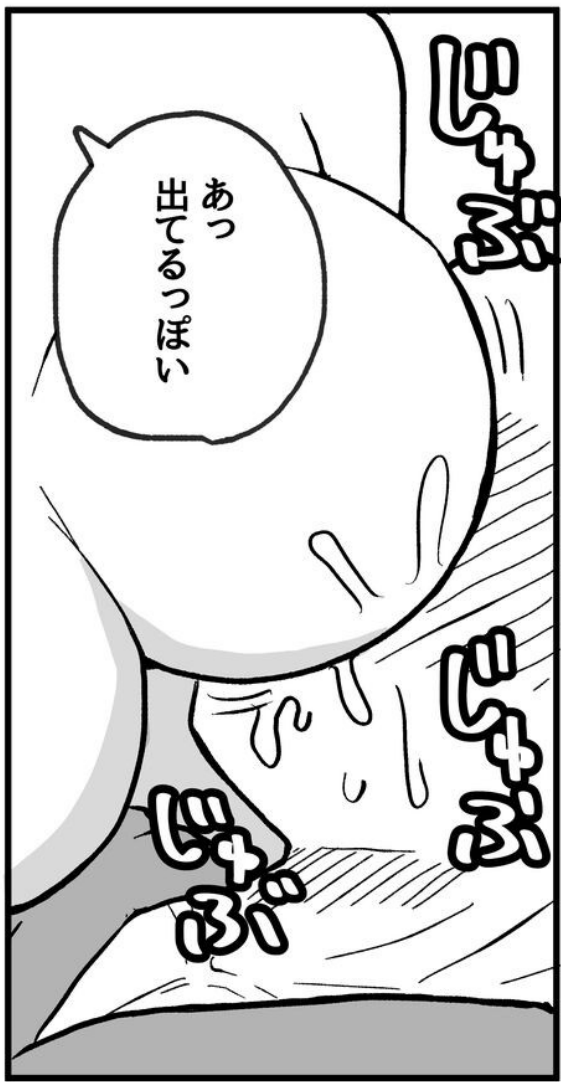


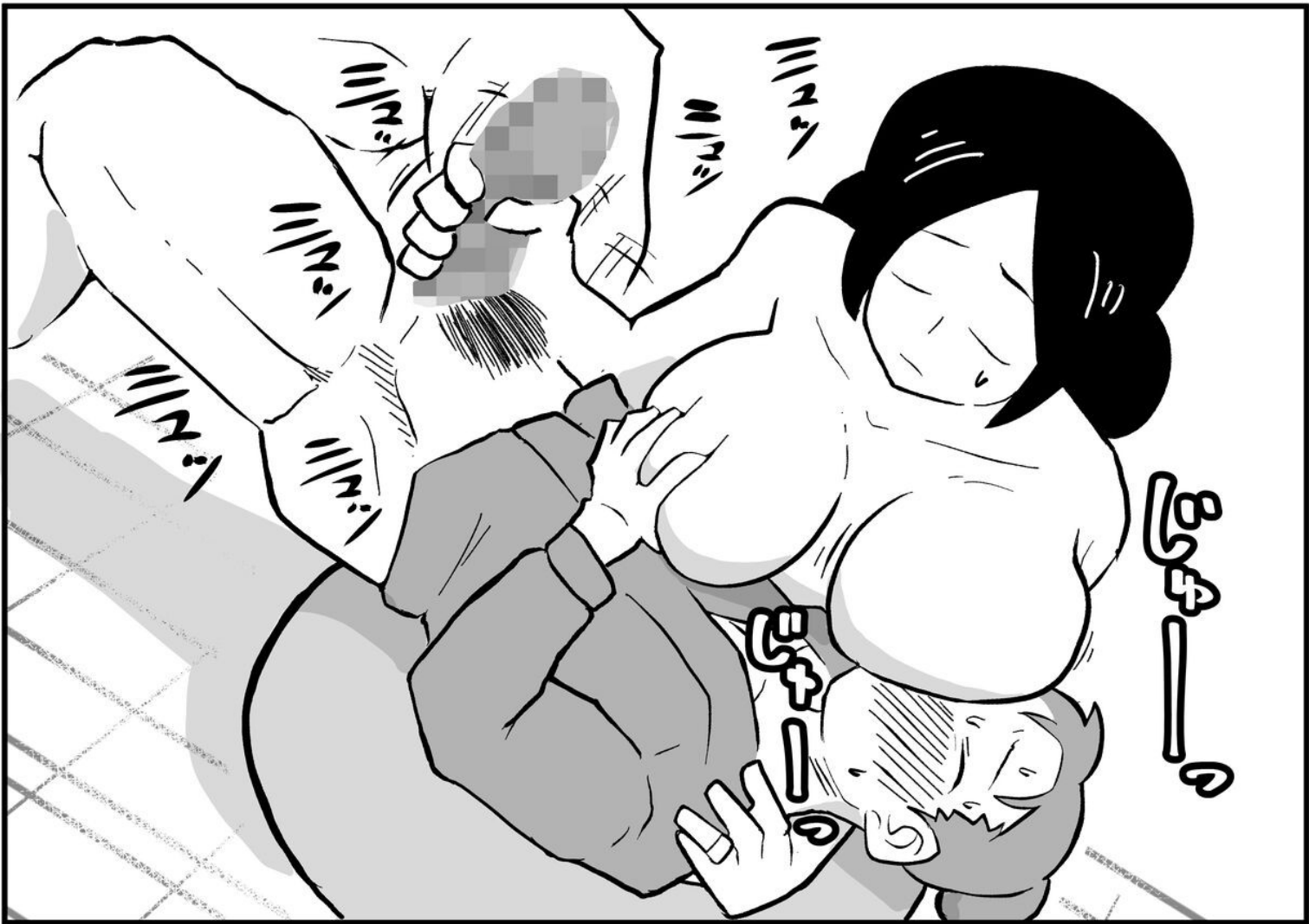


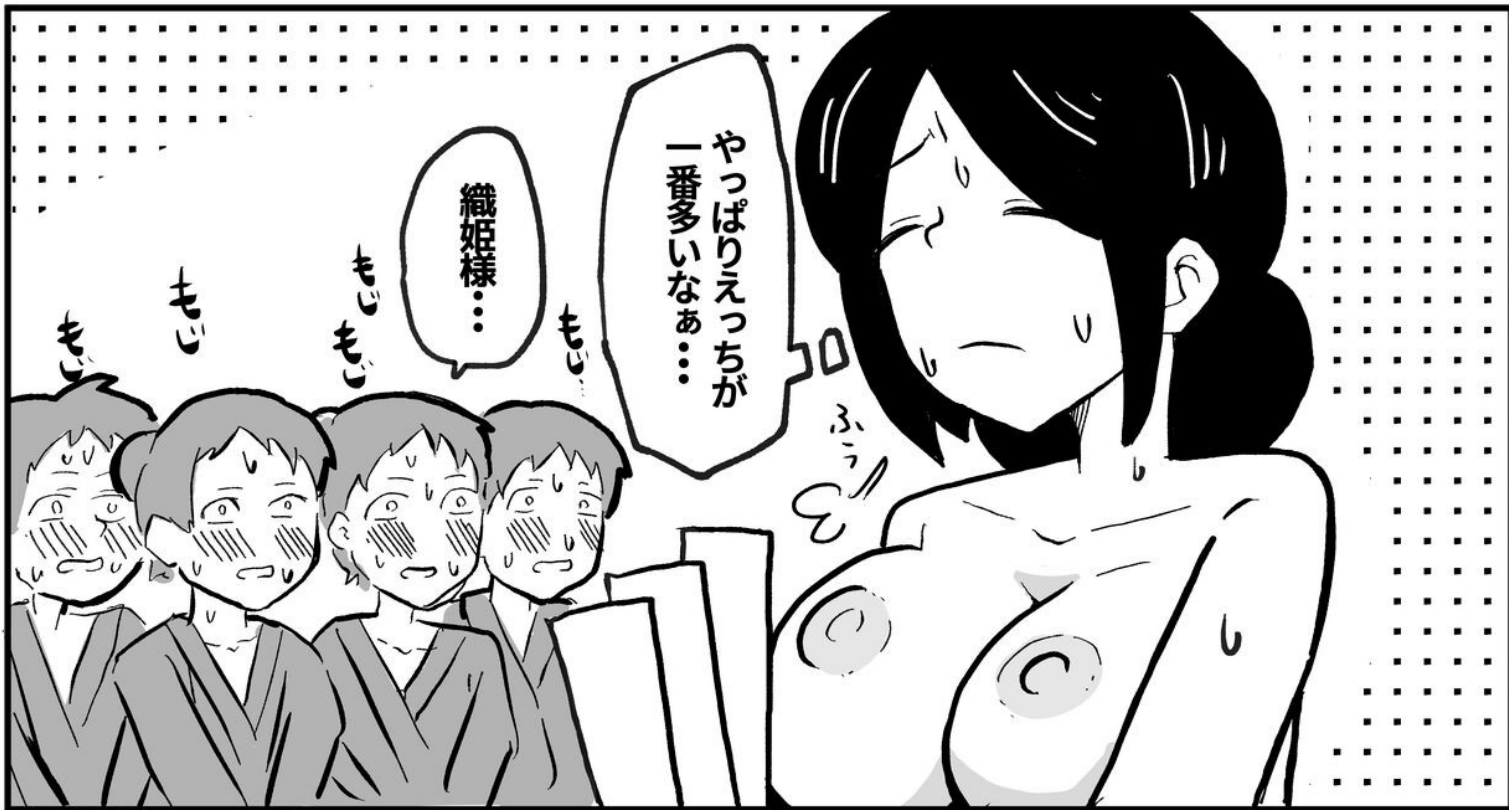
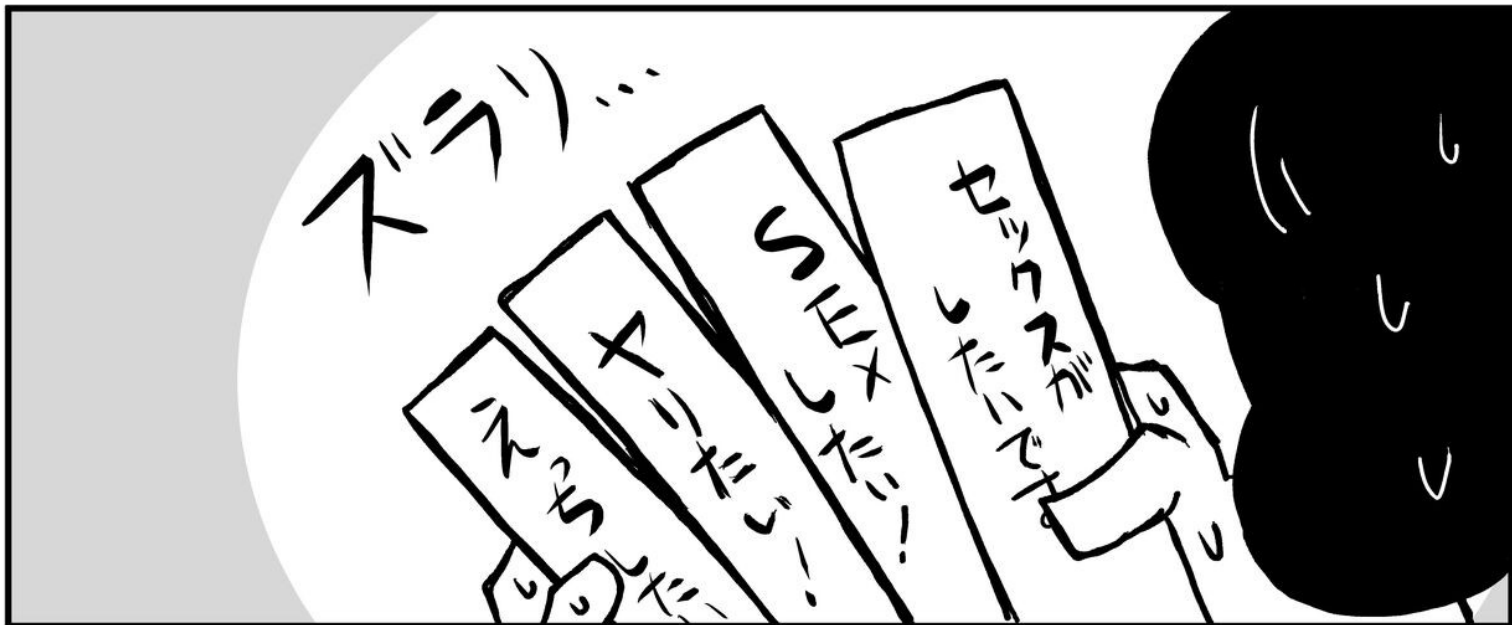


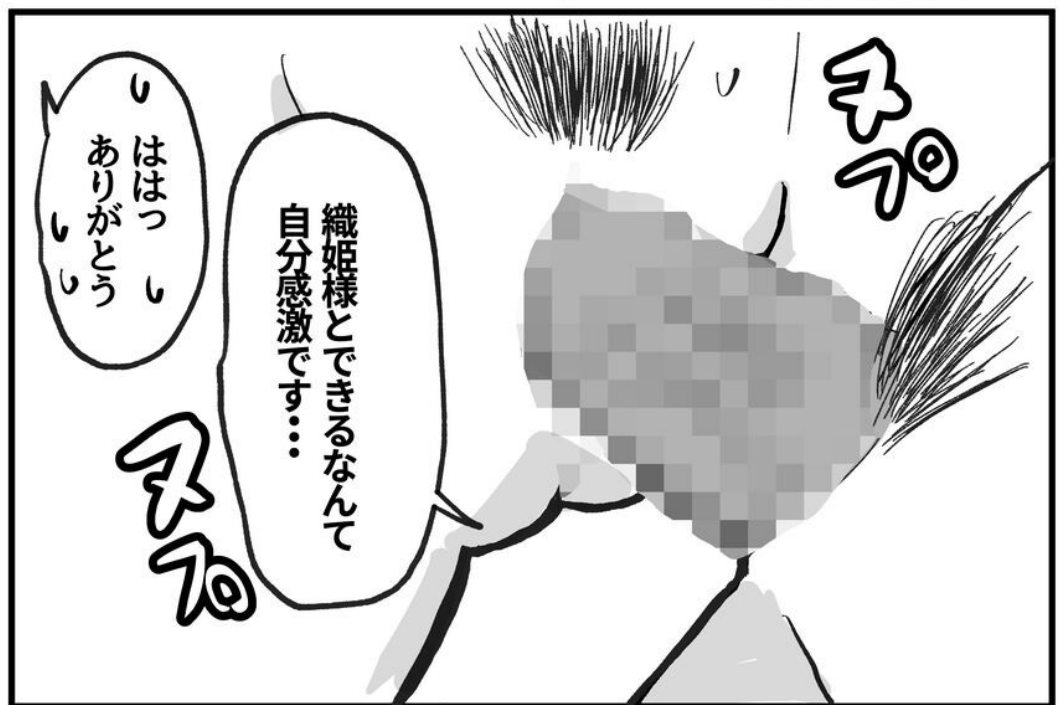


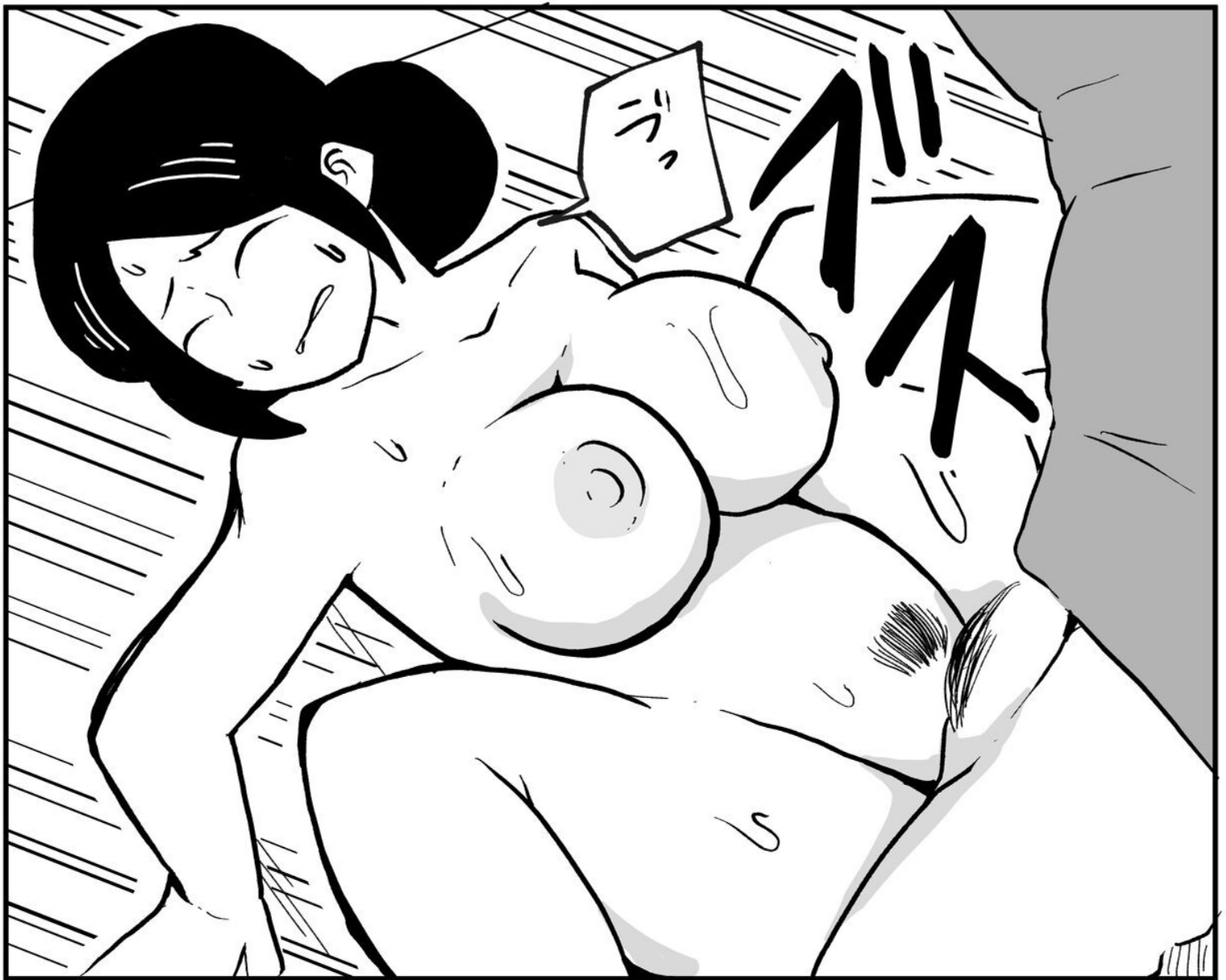


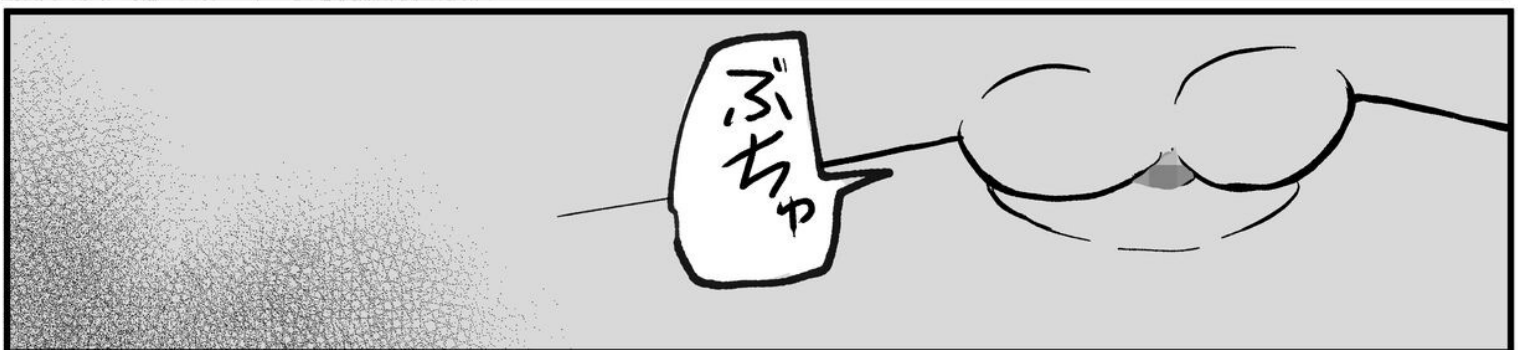
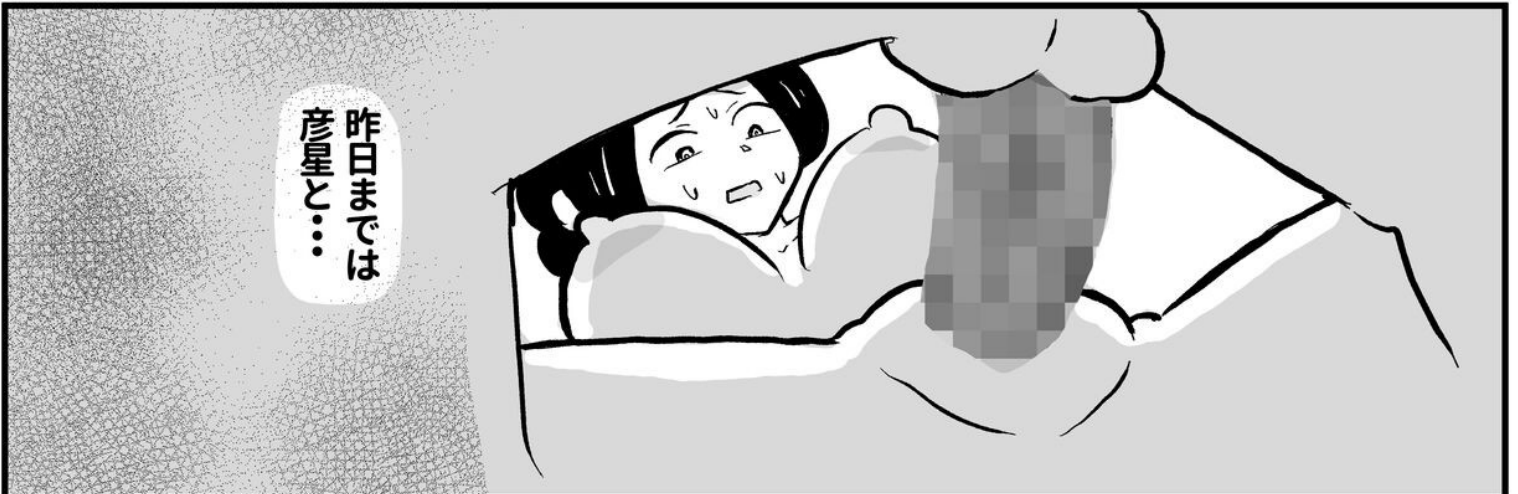
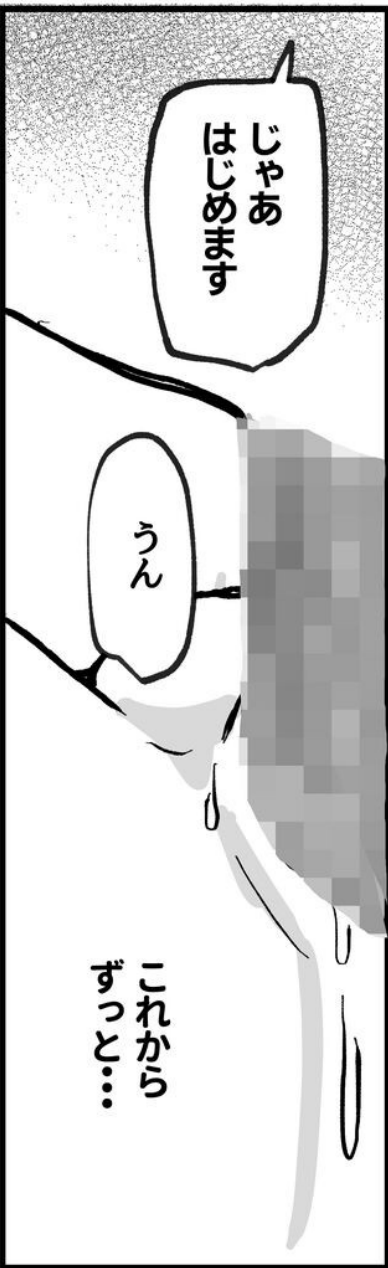




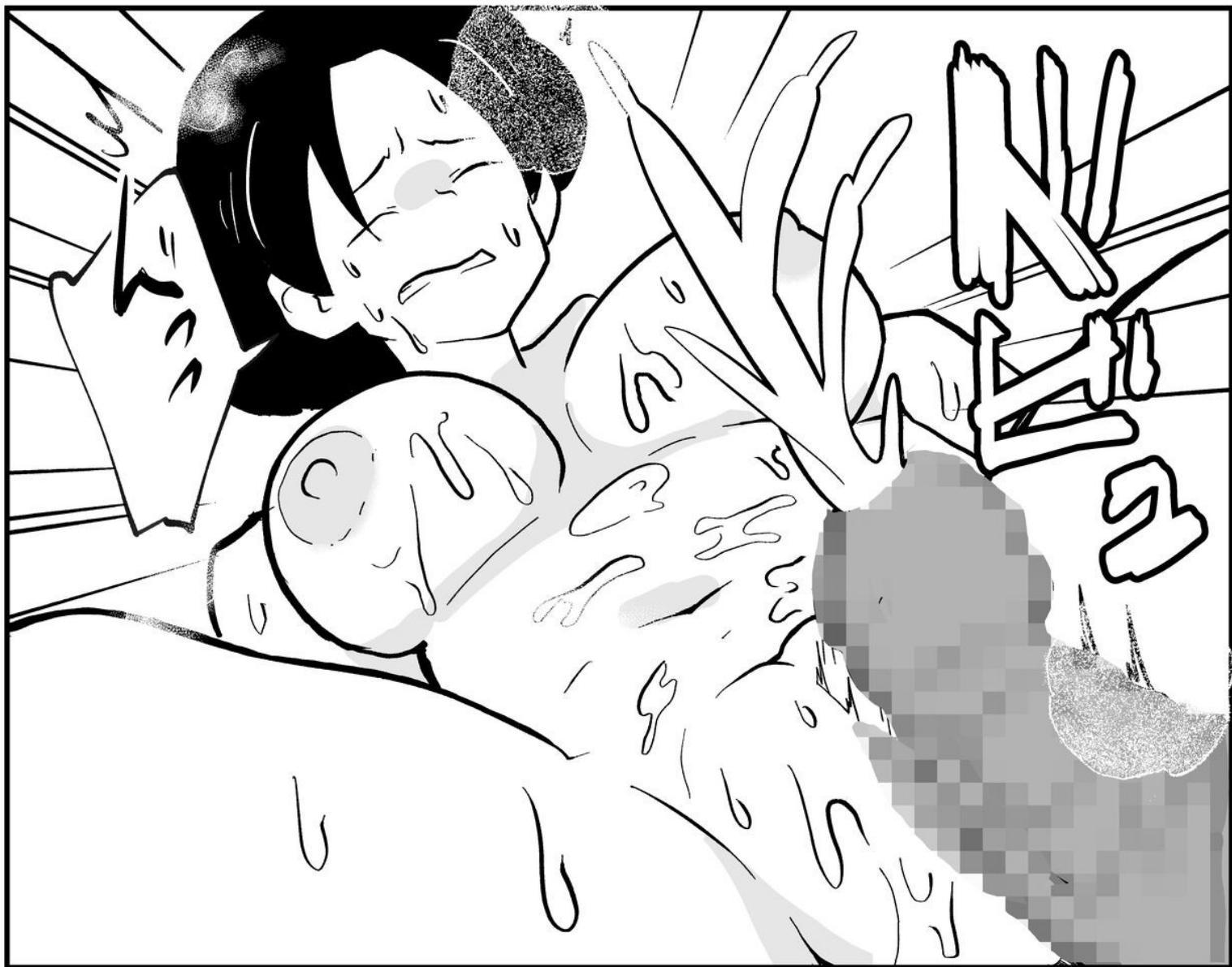














お父様

どうじゃ？
牛飼いのことなど
どーでも良くなっ
てきたかの？



全っ然

すごく意義深い
仕事ですね？



そうか
何よりじゃ

ではお前の
寢床へ案内しよう



お父様の仰る通り
私にとって天職かもしれないわ

民の願いを聞くのも
悪く無いですね



生き残っている者が少なくて
兵士に志願するものも減っておった

ここ数百年程
戦が無いのでな

今までは戦で
連れてきた姫や村娘に
相手をさせて来たが



この生活を24時間
365日勤め上げたなら
1日だけ河に橋を渡してやろう

どうじゃあ...これでも
あの牛飼

お父様

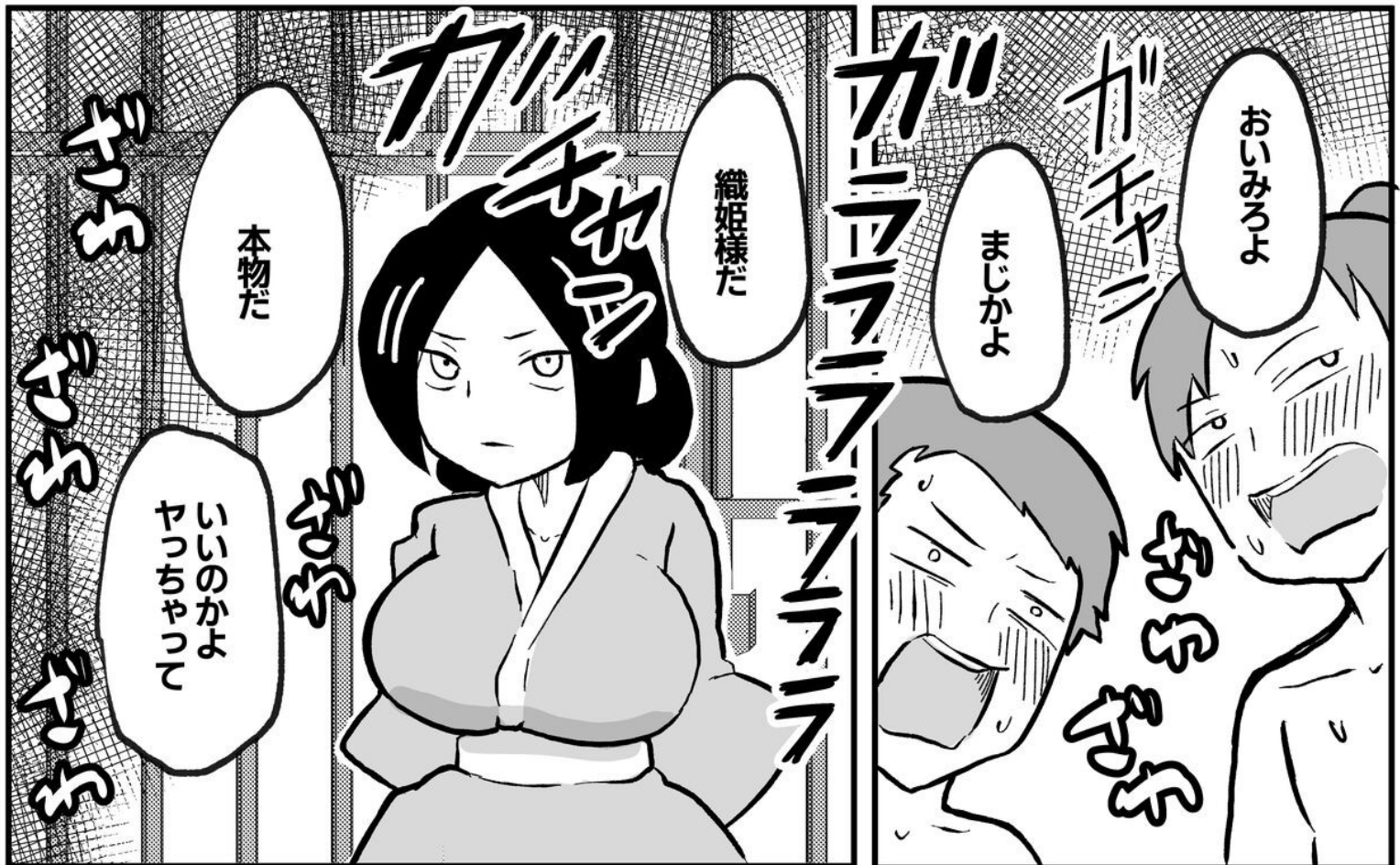


天帝の娘の身体を弄べるとなれば
士気も再び上がるだろう

なあにあの牛飼いとしていた事を
兵士達にもささせてやるだけじゃ

簡単じゃろ

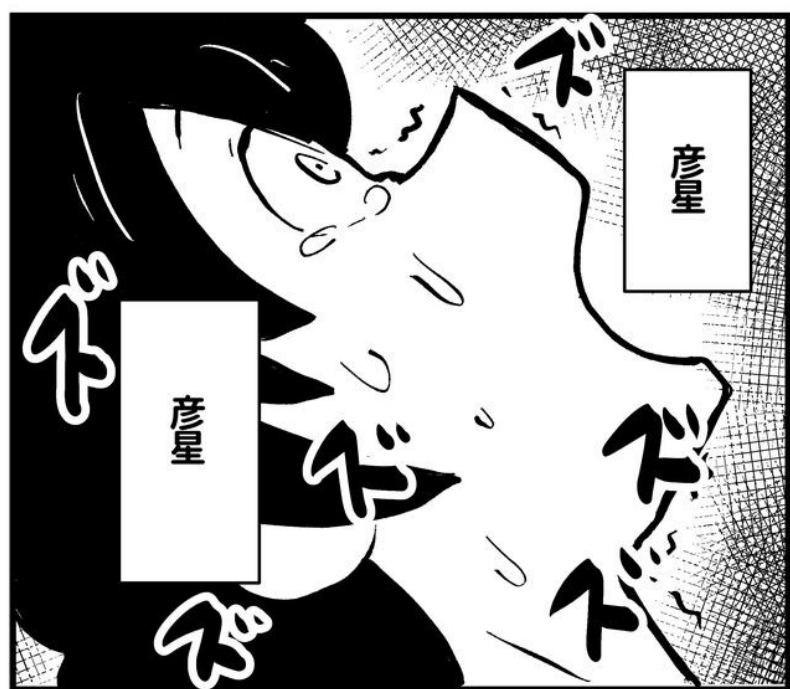
ギョッ













私の中に他の人が
入ってくる度に

あなたが
遠くなっていく

めっちゃくちや
締まるー!

久しぶりの
キツマンだ



最高の
締めりだぜ

奥まで突かれる度に

あなたが
押し出されていく



中がこすれる度に

あなたが
掻き出されていく

ずっと
ガバマンぽっか
だったからな



中に吐きだしたら
もう……

あああ

アアアアア

アアアアア



おい次は織姫様
こっちにゆいませ

まじっ
全部吐っけりせいでせ

おれも
早くヤンこー

私の中から
あなたが消えちゃいそう……

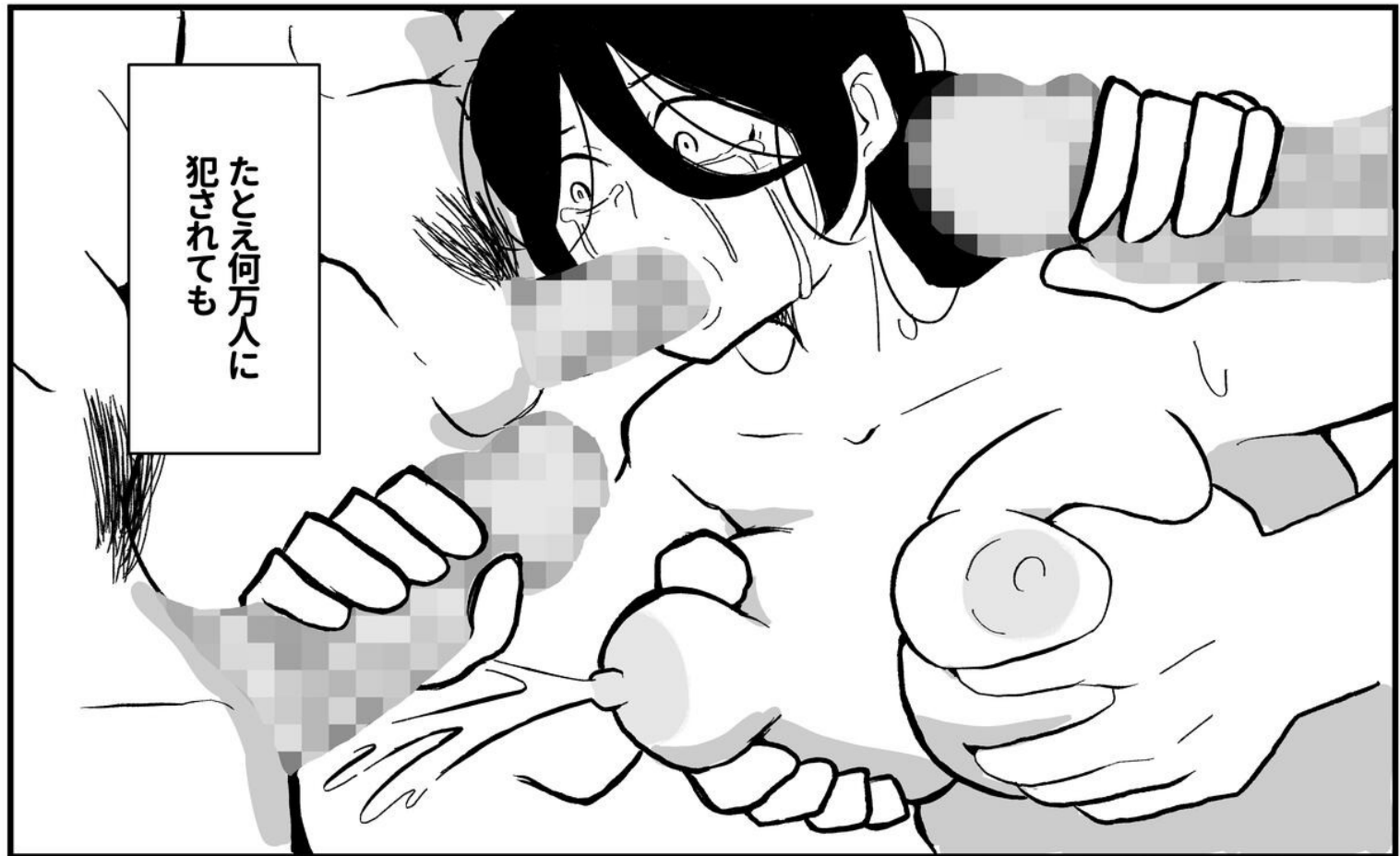


それでも

ッ



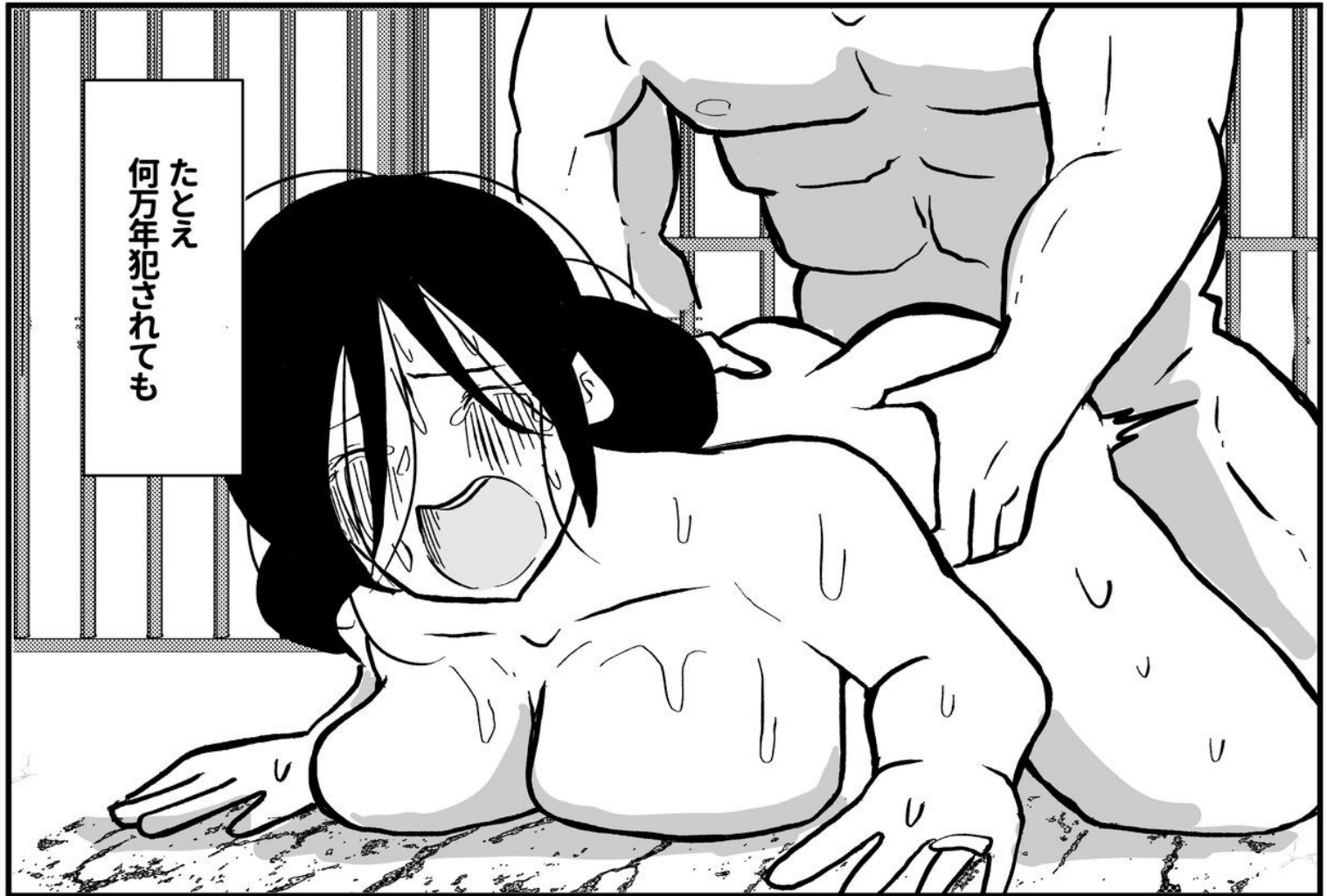
私はあなたに
会いたい



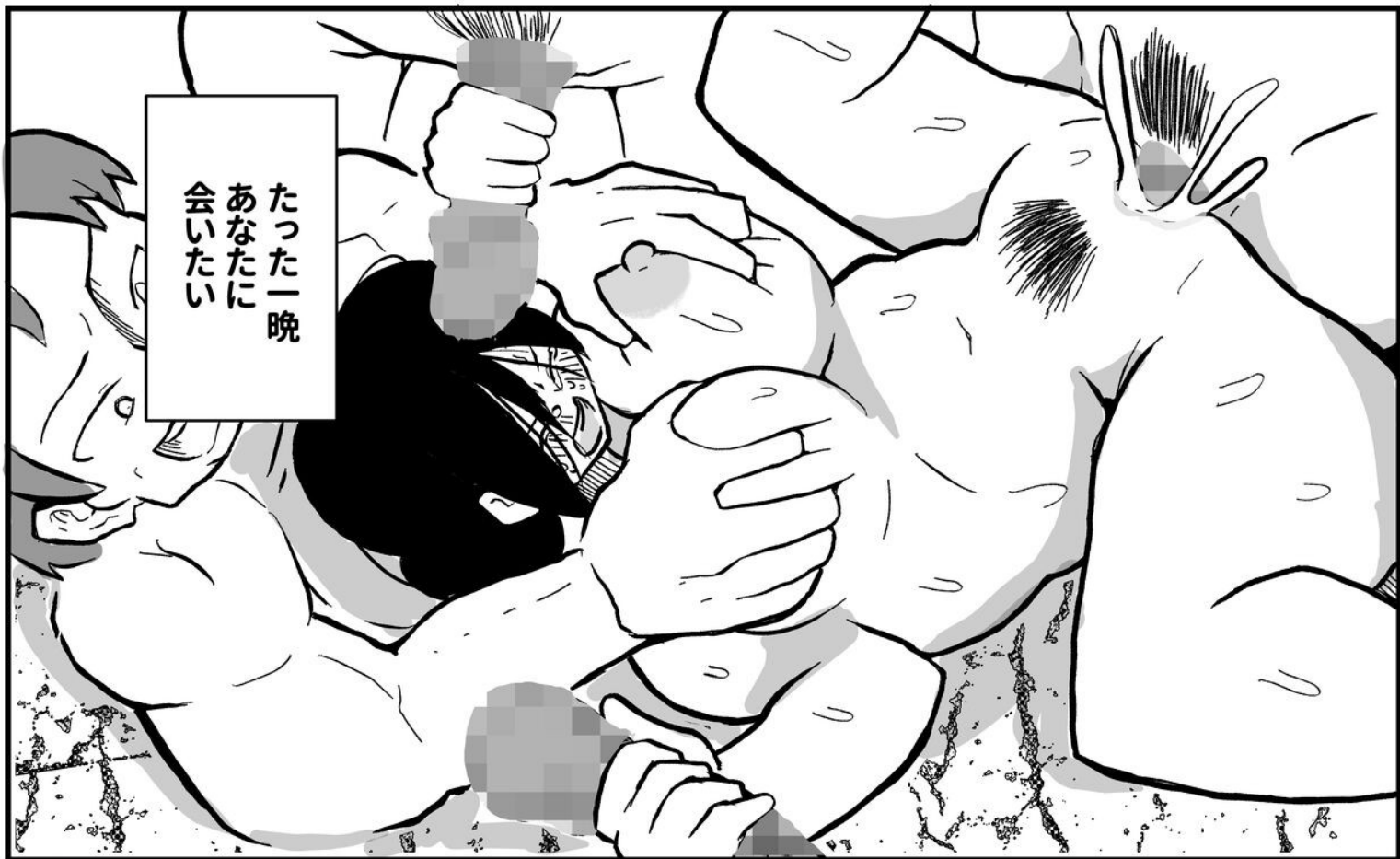
たとえ何万人に
犯されても



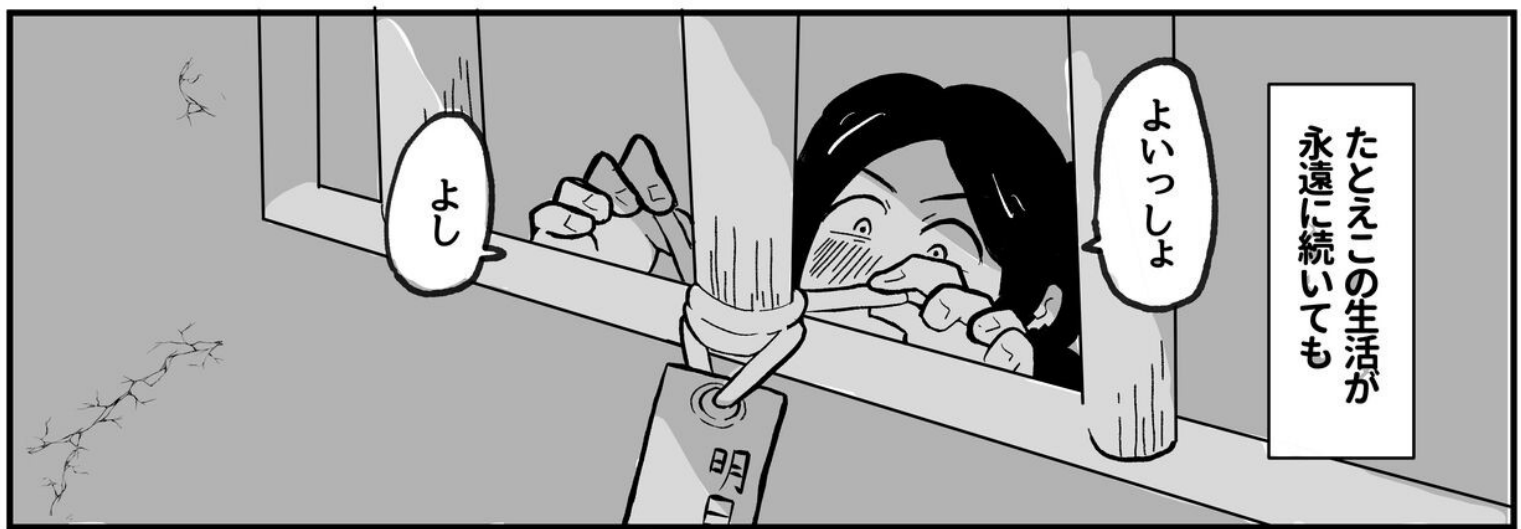
もう一度あなたに
会いたい



たとえ
何万年犯されても



たった一晩
あなたに
会いたい



たとえこの生活が
永遠に続いても

ようっしょ

ようっしょ

明日



私の願いは
かわらない



なんでも願いを叶えてくれる織姫様

漫画 おっと
アシスタント 中広間郷吉